

令和6年度事業報告書



社会福祉法人 京丹波町社会福祉協議会

目 次

総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
社会福祉協議会運営基盤の強化・・・・・・・・	4
在宅福祉推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・	9
高齢者福祉事業・・・・・・・・・・・・・・・・	13
障害者福祉事業・・・・・・・・・・・・・・・・	22
児童福祉事業・・・・・・・・・・・・・・・・	27
地域福祉推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・	30
ボランティア振興事業・・・・・・・・・・・・・・・・	35
厚生福祉事業・・・・・・・・・・・・・・・・	39
福祉関係組織活動支援・・・・・・・・・・・・・・・・	42
災害支援活動と災害ボランティアセンター活動報告・・・・・・・・	44

福祉標語

ささえ合い つながり合い え顔あふれる京丹波町
支え合う 温かい心が 町照らす

福祉まつり（令和6年度）で募集した福祉標語。
この標語をもとに、住民みんなが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指して取り組んでいきます。

令和6年度事業報告

I 総 括

長引いた感染症もようやく落ち着き、イベントや地域活動が再開され以前のにぎわいを取り戻しつつあります。しかしながら、この感染症がもたらした影響はあまりにも大きく、依然として生活状況の苦しい世帯があります。また、円安などからくる物価高騰も追い打ちをかけ、年金等の限られた収入で暮らす生活者の暮らしを圧迫しています。さらにコロナ禍前から続く少子高齢化と人口減少の影響は、地域の支え合う力を低下させ、孤立や孤独といった問題に対する新たな支援の仕組みが喫緊の課題となっています。

そのようななか、京丹波町社会福祉協議会（以下、本会）では、令和6年度、判断能力が不十分な方の生活維持や財産管理を支援する法人後見事業をスタートしました。この事業は今後、全国的に支援を必要とする方が増加傾向にあるのに対し専門職不足や支援する側の体制が厳しくなるなかで、国が法人後見の新しい仕組みとして都道府県社協である京都府社会福祉協議会（以下、府社協）と市町村社協である本会が連携して取り組む全国に先駆けたモデル事業です。全国第1号となられた京丹波町の被後見人（被保佐人）は、これまでから本会が行う福祉サービス利用援助事業により支援しておりましたが、今後もさらに一体的・継続的に支援が可能となりました。

また、第2期京丹波町地域福祉活動計画に定めた「いつでも参加できる活動づくり」に基づき、3年目を迎えたコレカラー展（注）では、障害の有無や年齢に関わらず多くの方の参加があり自分らしく思いのまま表現する作品展を開催することができました。交通課題に関しても、町内で取組まれている住民主体の移動支援活動者から話を聞き今後の課題について考えることを行いました。福祉まつりでは「福祉標語」を募集し22作品の応募をいただき、そのなかから最優秀作品として小学生の部と中学生以上の部、各1作品を選び本会広報紙などに掲載することで、福祉の機運を高めることができました。

コロナ禍で中止となっていた小学生がデイサービスセンターで利用者と交流する「キッズボラ」についても今年度から再開することができ、中学生・高校生を対象として実施する「福祉体験学習」とともに若い世代から思いやりの気持ち、やさしさの気持ちを培う機会となり福祉の風土づくりとして取組むことができました。

最後に、財政改善に向けては今年度も会費について区長会を通じて住民への呼びかけや町内事業所に協力のお願いをした効果もあり、前年度比として一般会費で1.8%、特別会費で33.1%の増加が得られました。また、財政改善計画に基づき自主財源の増加、経費の節約、行政からの補助金増額などを計画的に進めた結果、2年連続で黒字決算としてしめることができました。しかし、令和7年度には自主財源事業である通所介護事業を施設の老朽化から廃止することとなり今後もまだまだ安心できる状況ではないため気を引き締めながら取り組んでまいります。

以下、令和6年度本会が取り組んだ事業について報告いたします。

（注）コレカラー展とは、自宅で過ごすことが多い人や障害のある人、創作活動が好きな人などが自由に表現し合い、つながり合う作品展です。作品を展示するだけの場ではなく、出展者と地域住民が自由に交流できる場になっています。

『コレカラー展』には「コレクション」「カラー（個性、多様性）」「これから」という意味が含まれています。

Ⅱ 社会福祉協議会運営基盤の強化

1 活動財源の確保

(1) 会員増強運動

社会福祉協議会(以下、社協)は、地域で暮らす住民の皆さんが主体となって運営される民間の団体であり、住民の皆さんに会員となっただき住民主体の福祉活動を進めていきます。

会費を納めていただくことで、地域福祉の推進に取り組む社協の貴重な財源となり事業の運営やサービスの参加・協力を財政面で支えていただくことになります。

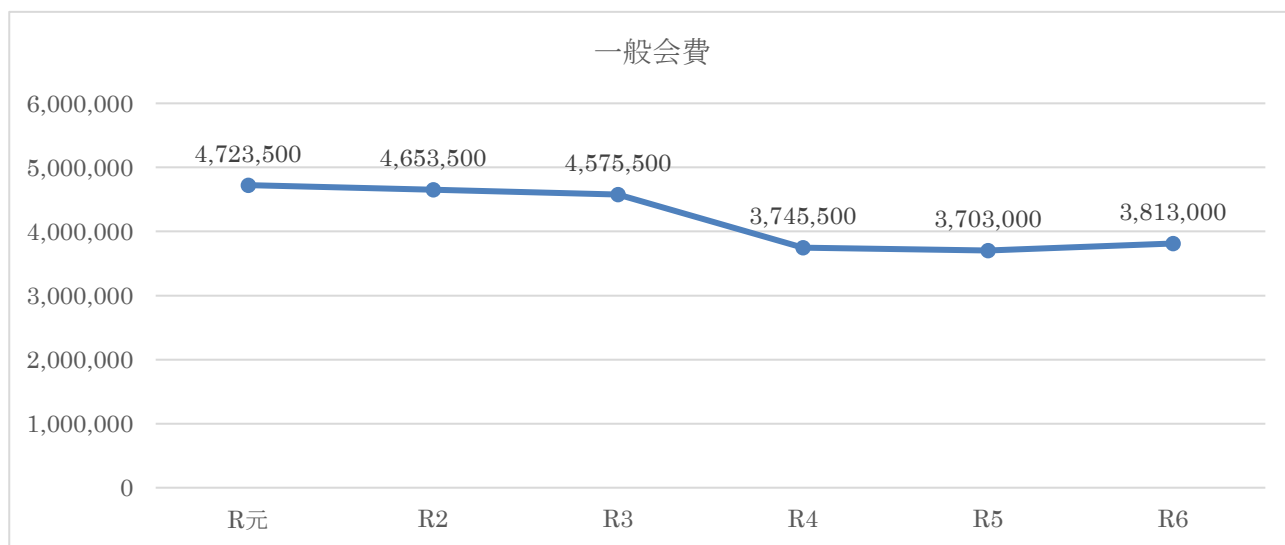
①会費納入状況

会員種別	丹 波	瑞 穂	和 知	町 外	合 計	備 考
一般会員	1,444,000	1,241,000	1,121,000	7,000	3,813,000	成人者：1,000 円
特別会員	225,000	335,000	230,000	95,000	885,000	会社・事業所等：5,000 円
賛助会員	24,000	0	3,000	0	27,000	福祉施設・団体等：3,000 円
合 計	1,693,000	1,576,000	1,354,000	102,000	4,725,000	

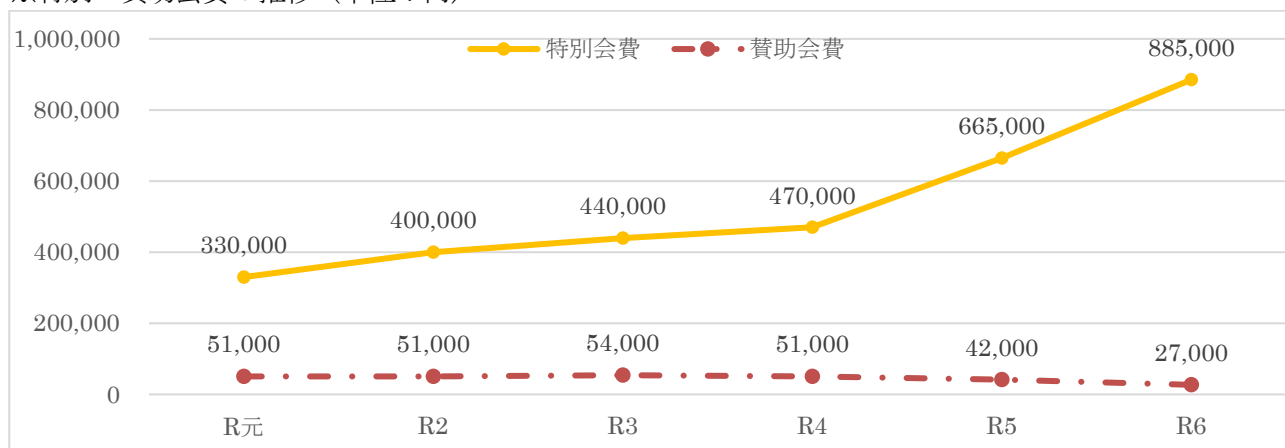
一般会費地区ごとの内訳

		R 元	R2	R3	R4	R5	R6
丹 波	会 費	1,827,000	1,803,000	1,770,000	1,450,000	1,409,000	1,444,000
	成人数	5,959	5,855	5,808	5,821	5,738	5,615
	加入率	30.7%	30.8%	30.5%	24.9%	24.6%	25.7%
瑞 穂	会 費	1,554,000	1,540,000	1,519,000	1,253,000	1,243,000	1,241,000
	成人数	3,576	3,532	3,453	3,416	3,333	3,278
	加入率	43.5%	43.6%	44.0%	36.7%	37.3%	37.9%
和 知	会 費	1,337,500	1,305,500	1,281,500	1,035,500	1,043,000	1,121,000
	成人数	2,545	2,471	2,386	2,349	2,296	2,221
	加入率	52.5%	52.8%	53.7%	44.1%	45.4%	50.5%
全 域	会 費	4,723,500	4,653,500	4,575,500	3,745,500	3,703,000	3,813,000
	成人数	12,080	11,858	11,647	11,586	11,367	11,114
	加入率	39.1%	39.2%	39.3%	32.3%	32.6%	34.3%

※一般会費の推移 (単位：円)



※特別・賛助会費の推移（単位：円）



（２）ご寄付を広くお受けできるように

社協は、既存の制度や事業に取り組むだけでなく、制度による福祉サービスでは十分に対応できない問題や制度の狭間にある福祉課題・生活課題に向きあい、地域の皆さんの参加や協力を得ながら地域に根ざした取組みを積極的に進めていくことが求められています。その財源として、地域の皆さんからの寄付金を活用させていただいております。

地域の皆さんからご寄付として支援をいただきやすくするために、地域の事業所にもご協力いただきながら以下の取組みをしています。

①自動販売機による寄付の取組

飲み物を購入するとその売り上げの一部が自動的に京丹波町社協へ寄付される自動販売機を、ウッディパルわち様（ウッディパルわち管理委員会：京丹波町下栗野）と道の駅丹波マーケス様（丹波地域開発株式会社：京丹波町須知）、道の駅さらびきの里様（グリーンランドみずほ株式会社：京丹波町大朴）、アズビル京都株式会社様（京丹波町鎌谷下）に設置いただいております。

寄付実績

	ウッディパル わち	道の駅 丹波マーケス	道の駅 さらびきの里	アズビル京都 株式会社	計
合計	8, 7 9 0円	4 1, 2 1 4円	7 4, 8 0 3円	8 4, 5 2 4円	2 0 9, 3 3 1円

②税額控除制度の活用

税額控除制度は、所得税率の高い高所得者に減税効果が高い「所得控除制度」に比べ、税率に関係なく税額から税額控除額を直接差し引くことができるため、個人による小口寄附を促進する効果があります。

京丹波町社協では、所轄庁である京都府に申請し、令和2年10月に税額控除対象法人としての証明書を受けました。

今後は「所得控除」か「税額控除」のどちらか有利な方を選択し控除を受けていただくことができます。

【成果・課題】

- ・葬儀の簡略化や人口減少によりご寄付が年々減少傾向にある中、大口の寄付や自動販売機による寄付などにより予算を上回るご寄付があった。社協の取組みを住民のみなさまに丁寧にお伝えすることで、ご寄付につなげていきたい。
- ・自動販売機によるご寄付が年々増えており、今後も地域の事業所様等のご理解を得ながら設置台数を増やし、安定した財源の確保につなげたい。

2 法人運営

●会 務

(1) 理事・監事会・・・6回【書面決議含む】

R6. 4. 3	【書面決議】 京丹波町社協会費に関する規程の一部変更（案）について
R6. 5. 30	異動に伴う評議員候補者（案）について 令和5年度京丹波町社協事業報告（案）について 令和5年度京丹波町社協資金収支決算（案）について 京丹波町社協定款の変更（案）について 令和6年度第1回評議員会の開催（案）について 京丹波町社協（正職員）就業規則別表2の一部改正（案）について 京丹波町社協嘱託職員就業規則別表2の一部改正（案）について 京丹波町社協非常勤・パートタイマー等就業規則別表2の一部改正（案）について 京丹波町社協登録ヘルパー就業規則別表2の一部改正（案）について 京丹波町社協（正職員）給与規程及び別表「職員賃金表」の一部改正（案）について 京丹波町社協嘱託職員給与規程及び別表「職員賃金表」の一部改正（案）について 京丹波町社協非常勤職員・パートタイマー等給与規程の一部改正（案）について 京丹波町社協登録ヘルパー給与規程の一部改正（案）について 京丹波町社協登録ヘルパーの賃金及び手当表の一部改正（案）について
R6. 6. 10	【書面決議】 令和6年度第1回評議員会決議の省略について
R6. 9. 19	京丹波町社協（正職員）就業規則及び別表2の一部改正（案）について 京丹波町社協嘱託職員就業規則及び別表2の一部改正（案）について 京丹波町社協非常勤・パートタイマー等就業規則及び別表2の一部改正（案）について 京丹波町社協登録ヘルパー就業規則及び別表2の一部改正（案）について 京丹波町社協育児・介護休業等に関する規程の一部改正（案）について 京丹波町社協ハラスメントの防止に関する規程の一部改正（案）について 京丹波町社協（正職員）給与規程の一部改正（案）について 京丹波町社協嘱託職員給与規程及び別表「職員賃金表」の一部改正（案）について 京丹波町社協登録ヘルパーの賃金及び手当表の一部改正（案）について
R6. 12. 5	評議員候補者（案）について 令和6年度補正予算（案）について 令和6年度上半期事業執行状況について 令和6年度上半期予算執行状況について 定款変更（案）について 京丹波町社協（正職員）給与規程の一部改正（案）について 京丹波町社協登録ヘルパーの賃金及び手当表の一部改正（案）について 令和6年度第2回評議員会開催（案）について
R7. 3. 4	令和6年度第2次補正予算（案）について 令和7年度事業計画（案）について 令和7年度資金収支予算（案）について 令和6年度第3回評議員会の開催（案）について 京丹波町社協理事・監事及び評議員の選出に関する規程の一部改定（案）について 京丹波町社協（全職種共通）就業規則別表2の一部改正（案）について

(2) 監査会・・・2回

R6. 5. 21	令和5年度事業及び収支決算についての監査
R6. 11. 27	令和6年度上半期事業及び予算執行状況についての監査

(3) 評議員会・・・3回

R6. 6. 24	【書面決議】 異動に伴う理事の承認について 令和5年度京丹波町社協事業報告（案）の承認について 令和5年度京丹波町社協収支決算（案）の承認について 京丹波町社協定款変更の承認について
R6. 12. 26	令和6年度補正予算（案）について 定款変更（案）について
R7. 3. 18	令和6年度第2次補正予算（案）について 令和7年度事業計画（案）について 令和7年度資金収支予算（案）について

(4) 三役・管理職会議・・・13回

R6. 4. 18	財政改善、処遇改善に伴う規程変更、各課からの報告、他
R6. 5. 20	今後の体制、処遇改善手当、財政改善、令和5年度決算、能登半島地震職員派遣、夏季休暇、定款変更、各課からの報告、他
R6. 5. 30	賞与について
R6. 6. 13	職員募集、処遇改善、評議員会、各課からの報告、他
R6. 7. 16	職員募集、財政改善、社会福祉協議会基本要項2025、各課からの報告、他
R6. 8. 20	財政改善、最低賃金、規程の変更、理事・評議員の定数、各課からの報告、他
R6. 9. 19	財政改善、感染症対策、各課からの報告、他
R6. 10. 22	財政改善、初任給、各課からの報告、他
R6. 11. 18	財政改善、上半期事業報告、各課からの報告、他
R6. 12. 18	財政改善、年末年始の確認、各課からの報告、他
R7. 1. 21	財政改善、きょうと地域福祉活動実践交流会、各課からの報告、他
R7. 2. 18	財政改善、事業計画（案）、各課からの報告、他
R7. 3. 10	財政改善、次年度事業計画等の説明、各課からの報告、他

(5) 各種運営委員会

委 員 会 名	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
心配ごと相談所運営委員会	1			1
福祉資金貸付委員会	1	0	0	1
ボランティアバンク運営委員会	2			2
理事・監事推薦委員会	2			2
評議員選任・解任委員会	2			2

(6) 管理職（課長）会議・・・13回

R6. 4. 11	財政改善、処遇改善、各課からの報告、他
R6. 5. 9	今後の体制、処遇改善、財政改善、夏季休暇、各課からの報告、他
R6. 6. 11	処遇改善、職員募集、各課からの報告、他、
R6. 7. 9	職員募集、財政改善、社会福祉協議会基本要項2025、各課からの報告、他
R6. 7. 22	今後の体制、他
R6. 8. 8	財政改善、就業規則・給与規程変更、きょうと福祉人材育成認証制度、各課からの報告、他
R6. 9. 5	財政改善、感染症対策、上半期事業報告、各課からの報告、他
R6. 10. 10	禁止行為の周知徹底、財政改善、各課からの報告、他
R6. 11. 7	町長との予算要望、財政改善、上半期事業報告、各課からの報告、他
R6. 12. 3	財政改善、福祉まつり、各課からの報告、他

R7.1.7	財政改善、ホームページ、きょうと地域福祉活動実践交流会、各課からの報告、他
R7.2.4	財政改善、職員体制、各課からの報告、他
R7.3.7	財政改善、次年度事業計画等の説明、内示、各課からの報告、他

(7) 職員内部研修、会議・・・5回

R6.11.13 R6.11.20	在宅福祉課感染症予防研修
R7.1月～ 3月	在宅福祉課虐待防止研修 ※随時動画視聴による研修
R7.2.16	災害ボランティアセンター職員研修
R7.2.28	共同作業所虐待防止研修
R7.3.19	共同作業所感染症予防研修



▲災害ボランティアセンター職員研修 (R7.2.16)

【在宅福祉推進事業】

1 福祉サービス利用援助事業

認知症や知的障害、精神障害等により判断能力が不十分な人に対して、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行う。

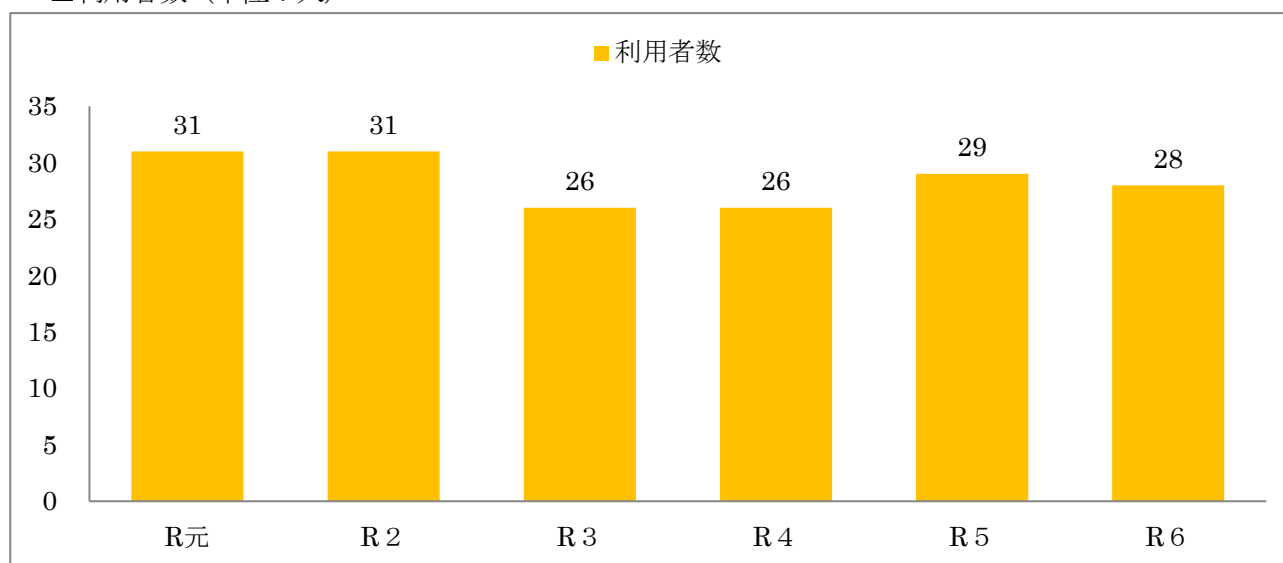
■契約・支援等の件数・・・令和7年3月31日現在

	R 5年度支援件数					解約 件数	新規 件数	保留 件数	R 6年度支援件数					生活保護 受給者数	相談継続 件 数
	認知 症	知的 障害	精神 障害	その他	計				認知 症	知的 障害	精神 障害	その他	計		
丹波地域	3	1	5	1	10	0	5	1	5	1	5	4	15	8	1
瑞穂地域	3	1	0	6	10	4	3	2	2	1	1	5	9	6	0
和知地域	3	1	3	2	9	5	0	0	1	1	1	1	4	0	0
合 計	9	3	8	9	29	9	8	3	8	3	7	10	28	14	1

① 令和6年度 新規契約者数 → 8名

② 令和6年度 解約者数 → 9名

■利用者数（単位：人）



■支援内容

支 援 内 容	丹波	瑞穂	和知	合計	備 考
○福祉サービス利用援助	15	9	4	28	福祉サービス利用契約手続き支援
○日常的な金銭管理	15	9	4	28	衣食住等の日常経費の管理
○通帳・印鑑の預かり	15	8	3	26	通帳・印鑑の管理
○書類等の預かりサービス	1	1	0	2	年金証書、権利証書等の預かり

■専門員・支援員研修の開催

専門員・・・1回

研 修 名	開 催 日	内 容
南丹・乙訓ブロック事例等検討会	R6. 9. 4	他市町村社協の事例について検討を行った

生活支援員・・・2回

研 修 名	開 催 日	内 容
生活支援員現任研修	R6. 10. 25	講義（同志社大学名誉教授 山田裕子氏） 「高齢者が自分らしく暮らし続けるために」 グループワーク、実践報告 「意思決定支援について」
南丹ブロック現任生活支援員研修交流会	R6. 12. 11	事例発表（亀岡市、南丹市、京丹波町） 「生活支援員として大切にしていること」 グループワーク、交流会

【成果・課題】

- ・新規ケースの相談経路内訳としては、ケアマネジャー4件、地域定着支援センター（伏見区）1件、あんしんサポートハウス相談員2件、ケースワーカー1件であった。
- ・地域定着支援センターからの相談ケースについては、契約前から関係者によるケース会議が開催され、利用者が地域社会との関わりを持ちながら暮らしていける生活基盤についての検討を重ねたことにより、安定した生活を送られている。
- ・解約理由の内訳は施設入所5件、本人希望1件、法人後見移行1件、死亡解約2件であった。本事業を解約後、成年被後見人が不安を感じることもないよう、本事業の支援方法を引き継ぎながら支援をしている。
- ・判断能力が不十分な高齢の親と障害のある子の世帯や単身の障害者への支援についての相談が増えている。

2 法人後見事業（京都府社協委託事業）【新規】

京都府社会福祉協議会が受任する成年後見業務に関して委託契約を締結し、京丹波町で暮らす被後見人等の財産管理（日常的な金銭管理）や身上保護などの支援業務の一部を担う。

■支援業務の内容

- ・受任ケース・・・1件（知的障害・身体障害）
- ・支援回数・・・1回／月
- ・支援内容・・・日常的な金銭管理と見守り

■後見専門員・業務管理者の研修の開催

研 修 名	開 催 日	内 容
法人後見基礎研修（1）	R6. 8. 7	民法の基礎、成年後見制度の基礎
法人後見基礎研修（2）	R6. 8. 21	介護保険、生活保護、生活困窮者自立支援制度、障害福祉サービス、社会保険制度、虐待防止について
法人後見基礎研修（3）	R6. 9. 3	意思決定支援、法人後見活動の実際について
法人後見基礎研修（4）	R6. 9. 19	成年後見制度の実務について
法人後見実務担当者研修（1）	R6. 12. 24	法人後見活動の実際について
法人後見実務担当者研修（2）	R7. 1. 29	身元保証、死後事務委任契約の考え方、家族との書面のやり取りについて

【成果・課題】

- ・都道府県社協が市町村社協と委託契約を結び実施する法人後見は、モデル事業として全国初の取り組みであり、前例がないなか京都府社協と試行錯誤しながら進めた。
- ・令和6年10月に京都家庭裁判所園部支部より京都府社協が成年後見人（保佐人）として審判が確定し、京丹波町社協の支援は12月からスタートした。
- ・被保佐人とは普段から電話で連絡を取りながら月1回の訪問を行い、ご本人の希望に応えられるよう、支援を行っている。

3 住民寄り添い型助け合い活動かがやき

世帯状況の変化に伴い生活上の困りごとを誰にも相談できず、地域の中で孤立する高齢者や障害者が増えている。また、介護保険法の改正に伴い、介護予防・生活支援の充実等が求められている中、住民の主体的な参加と協力によりお互いさまの気持ちで助け合う活動の推進を行う。

- 利用対象者 町内在住で何らかの困りごとを抱えている方
- 利用料金 300円／1時間（150円／30分）
※総合事業（訪問型サービスA：注1）としての利用料金は利用者の状況によって異なる。
- 活動費 500円／1時間（350円／30分）
※活動いただいた登録活動者に支払う費用。利用料金（300円）に赤い羽根共同募金の配分金（200円）をプラスする。
※総合事業（訪問型サービスA）としての活動費は上記と異なる。

（注1）訪問型サービスAとは

緩和した基準によるサービス提供で、掃除、調理、買物などの生活援助を、研修を受けた住民が有償ボランティア活動として行う。

身体的な介助は行わないため、専門職のサービス提供を必要としない。

（1）実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
かがやき（件）	2	12	9	16	7	5	2	3	18	5	3	5	87
総合事業（件数） ※訪問型サービスA	9	7	10	11	10	10	11	9	9	6	8	11	111
新規利用者数（人）	1	2	2	2	1	0	0	1	3	0	1	0	13

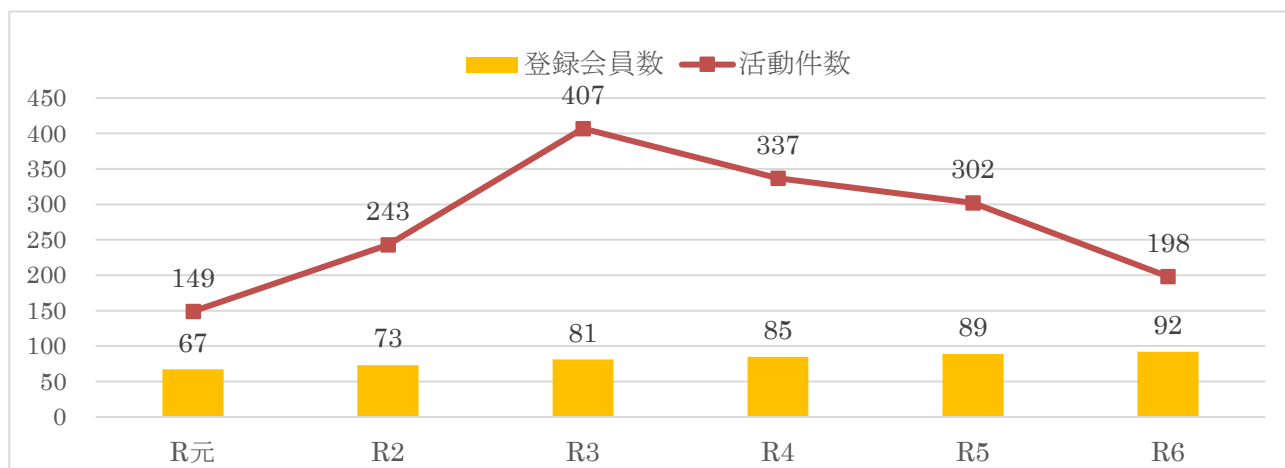
（2）依頼内容

依頼内容	件数	依頼内容	件数
ごみ分別・ゴミ捨て	58	草引き	1
掃除	14	模様替え	1
ガラス戸・窓拭き	12	掃除（総合事業）	111
マルチはがし	1		

（3）登録活動者数

（令和7年3月31日現在）

92名（男性 21名、女性 71名）



【成果・課題】

- ・ゴミ捨て（可燃ごみ・ビニールゴミ）の依頼が増え、定期的な活動であることから回数も増えてきている。
- ・掃除などの活動においては普段できない所を一緒に作業したりして、利用者に寄り添いながら活動を行っている。

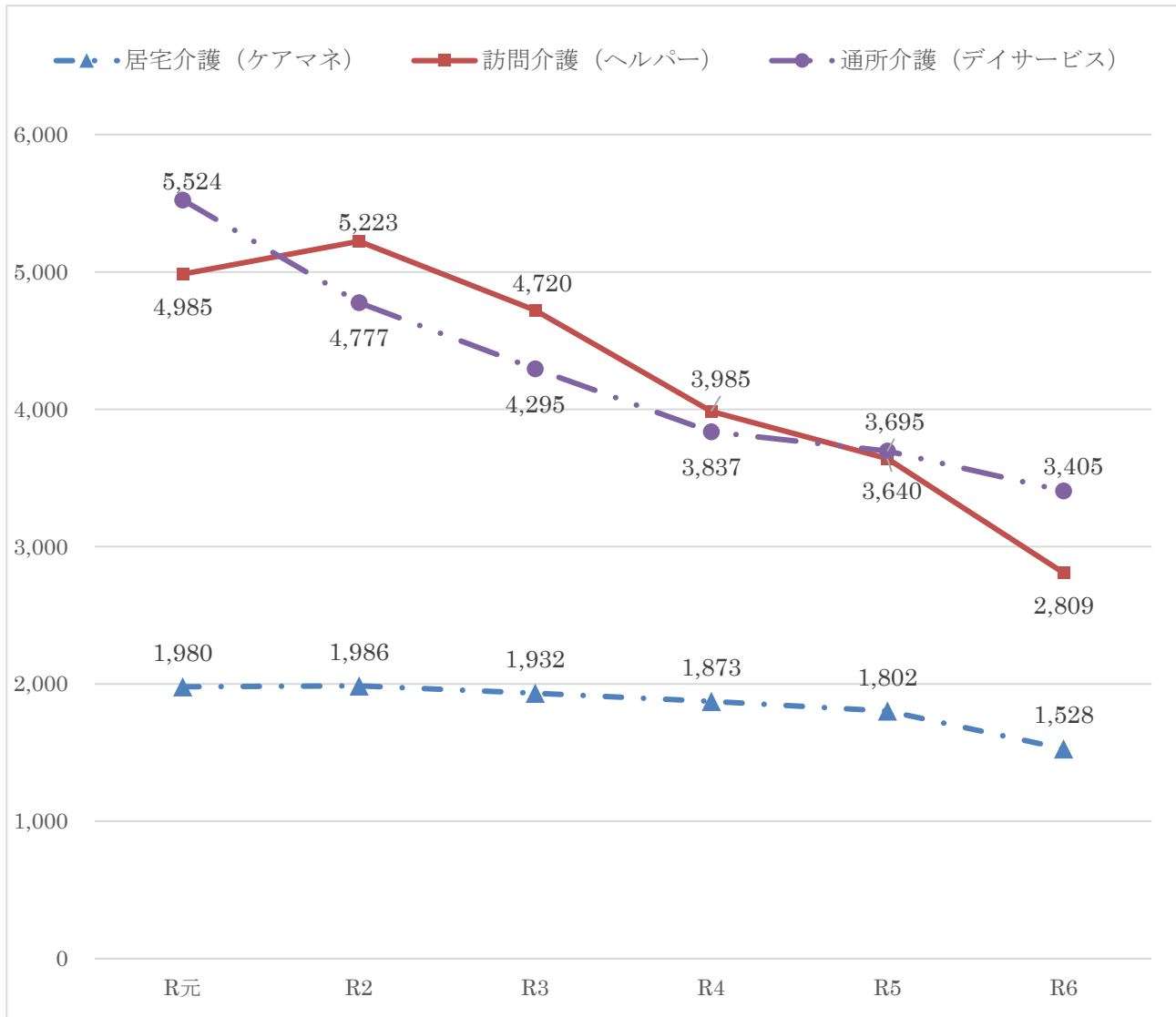


【高齢者福祉事業】

1 介護保険事業

※利用状況推移（要支援1、2、総合事業、要介護1～5の合計）

- ・ケアマネ（延べ利用者数、単位：人）
- ・ヘルパー（延べ提供回数、単位：回）
- ・デイサービス（延べ提供回数、単位：回）



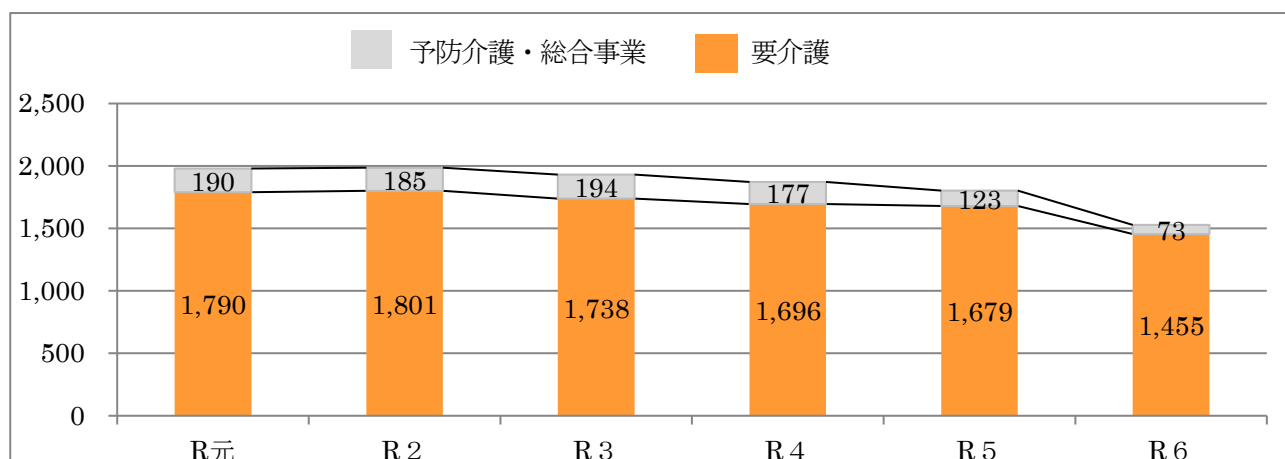
(1) 居宅介護支援事業・・・ケアマネジャーによる介護サービス利用の支援

○高齢者生活支援事業・総合事業・・・京丹波町委託事業

■対象者：概ね65歳以上の高齢者で、日常生活上の援助が必要な要支援者

■内 容：ケアマネジメント

※利用状況の推移（延べ利用者数、単位：人）



■予防介護支援事業・総合事業の実績（総合事業・要支援1・2の利用状況実績）

延べ利用者数（人）	要支援1	要支援2	総合事業	合 計
6年度	19	12	42	73
5年度	12	87	24	123
4年度	1	125	40	177
前年度比較（%）	158.3	13.7	175.0	59.3
4年度比較（%）	1900.0	9.6	105.0	41.2

■居宅介護支援事業の実績（介護1～5までの利用状況実績）

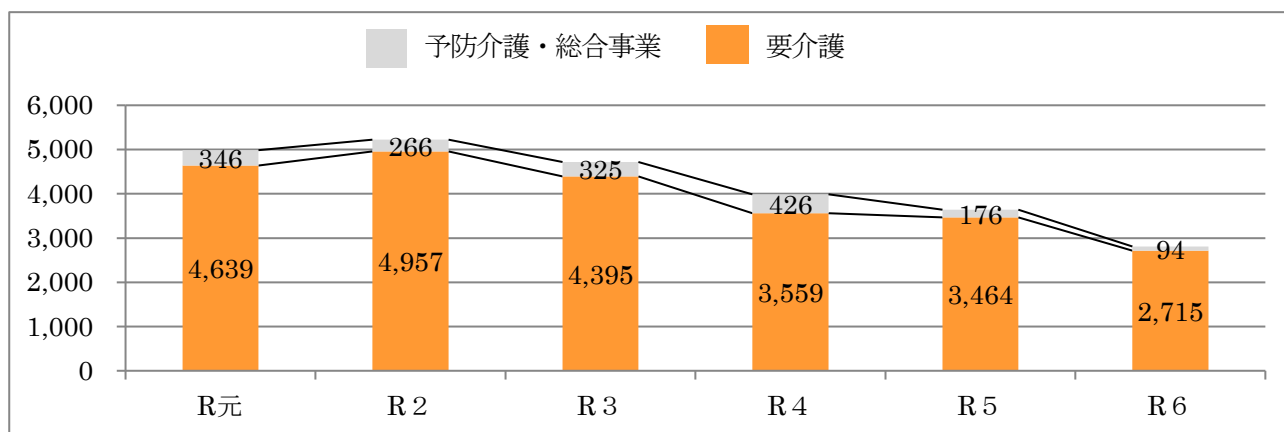
延べ利用者数	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合 計
6年度	326	674	307	127	21	1,455
5年度	373	758	308	214	26	1,679
4年度	434	733	305	184	40	1,696
前年度比較（%）	87.3	88.9	99.6	59.3	80.7	86.6
4年度比較（%）	75.1	91.9	100.6	69.0	52.5	85.7

【成果・課題】

- ・社協全体で収益を上げていかなければならない状況のなか収益確保のための特定事業所加算に必要な主任介護支援専門員更新研修を終了し更新が行えた。今後は更に新規利用者の受け入れを行い、収益の増収を目指していく。
- ・インフォーマルサービスをケアプランに組み入れることや新たな資源の発掘等を更に進めることは過疎地において難しい現状がある。今後も生活支援コーディネーターとも連携し課題解決に向け努力する必要がある。

(2) 訪問介護事業・・・ホームヘルパーによる在宅支援活動

※利用状況の推移 (述べ提供回数、単位：回)



■予防訪問介護事業の実績 (総合事業・要支援1・2の利用状況実績)

延べ利用者数 (人)	要 支 援 1	要 支 援 2	総合事業	合 計
6年度	12	13	0	25
5年度	12	30	0	42
4年度	12	38	20	70
前年度比較 (%)	100.0	43.3	—	59.5
4年度比較 (%)	100.0	34.2	—	35.7
延べ提供回数 (回)	要 支 援 1	要 支 援 2	総合事業	合 計
6年度	45	49	0	94
5年度	49	127	0	176
4年度	47	229	150	426
前年度比較 (%)	91.8	38.5	—	53.4
4年度比較 (%)	95.7	21.3	—	22.0

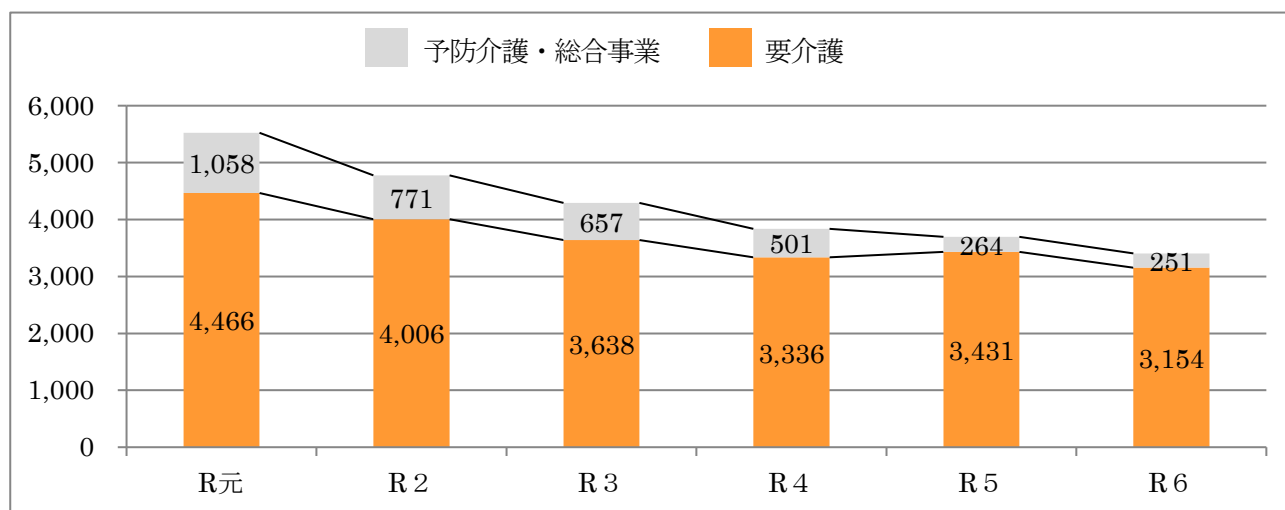
■訪問介護事業の実績 (介護1～5の利用状況実績)

延べ利用者数	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合 計
6年度	120	132	77	28	0	357
5年度	138	186	68	33	6	431
4年度	212	191	90	44	16	553
前年度比較 (%)	86.9	70.9	113.2	84.8	—	82.8
4年度比較 (%)	56.6	69.1	85.5	63.6	—	64.5
延べ提供回数	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合 計
6年度	792	828	782	313	0	2,715
5年度	1,114	1,439	411	488	12	3,464
4年度	1,239	1,366	555	547	152	3,559
前年度比較 (%)	71.0	57.5	190.2	64.1	—	78.3
4年度比較 (%)	63.9	60.6	140.9	57.2	—	70.3

【成果・課題】

- ・手指消毒、うがい等の感染対策を継続し、提供側の体調も考慮しながらサービス提供が行えた。
- ・ヘルパーの高齢化や人員も少ない体制のなか、できる限り新規利用者を受入れ在宅生活を支える資源として運営が出来た。
- ・年末年始にかけて亡くなられた方や施設入所の方が多く提供実績はやや減少となった。

(3) 通所介護事業・・・デイサービスセンターで、入浴・余暇活動等を提供
※利用状況の推移（述べ提供回数、単位：回）



■ 予防通所介護事業の実績（総合事業の利用状況実績）

延べ利用者数		述べ提供回数	
6年度利用状況	33	6年度提供回数	251
5年度利用状況	36	5年度提供回数	264
4年度利用状況	84	4年度提供回数	501
前年度比較 (%)	91.7	前年度比較 (%)	95.1
4年度比較 (%)	39.3	4年度比較 (%)	50.1

■ 通所介護事業の実績（介護1～5の利用状況実績）

延べ利用者数 (人)	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合 計
6年度	56	193	52	26	24	351
5年度	89	165	43	38	24	359
4年度	143	120	85	44	29	421
前年度比較 (%)	62.9	117.0	120.9	68.4	100.0	97.8
4年度比較 (%)	39.2	161.0	61.2	59.1	82.8	83.4
延べ提供回数 (回)	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合 計
6年度	565	1,673	449	145	322	3,154
5年度	796	1,483	406	316	430	3,431
4年度	1,038	854	684	336	424	3,336
前年度比較 (%)	71.0	112.8	110.6	45.9	74.9	91.9
4年度比較 (%)	54.4	195.9	65.6	43.2	75.9	94.5

【成果・課題】

- ・感染症が拡大することも事故もなく安全なサービス提供が行えた。
- ・コロナ禍以降中止していたキッズボランティアを再開し、多世代交流や未来の福祉の担い手育成に取り組めた。
- ・ボランティアによるフラダンスやコーラス、和知太鼓、手芸などコロナ禍前に戻った活動や交流ができ、利用者にも楽しんでもらう機会が作れた。
- ・施設の老朽化及び利用者の減少に伴い、令和7年度で通所介護事業の廃止が決定された。



夏祭り



フラダンス



運動会



クリスマス会



キッズボラ



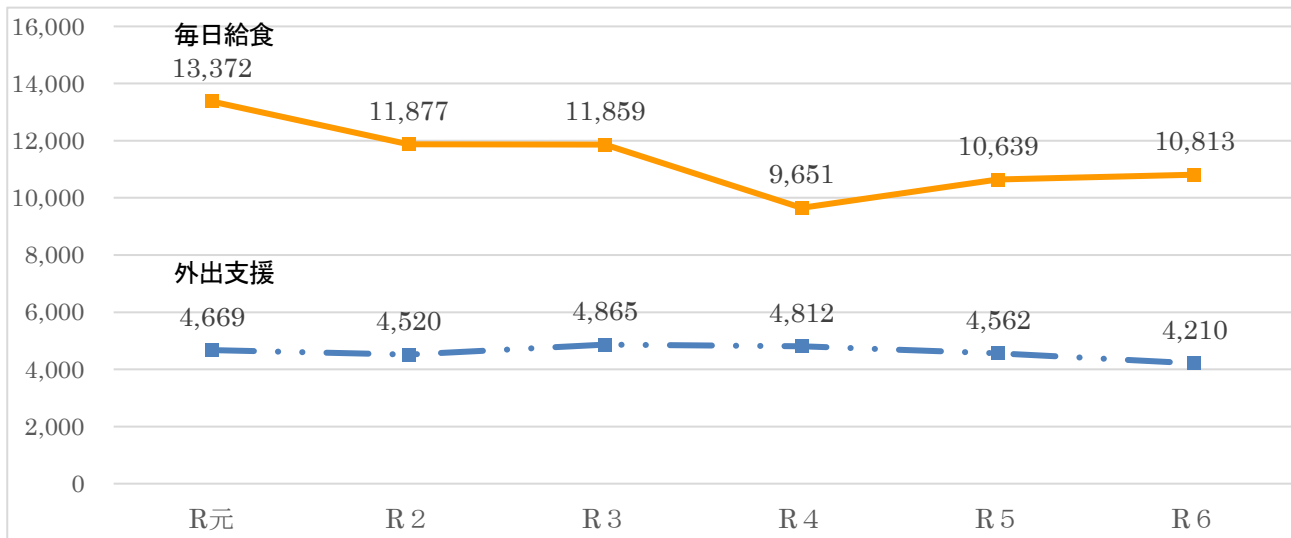
和知太鼓

2 高齢者生活支援事業・・・京丹波町委託事業

※利用状況の推移

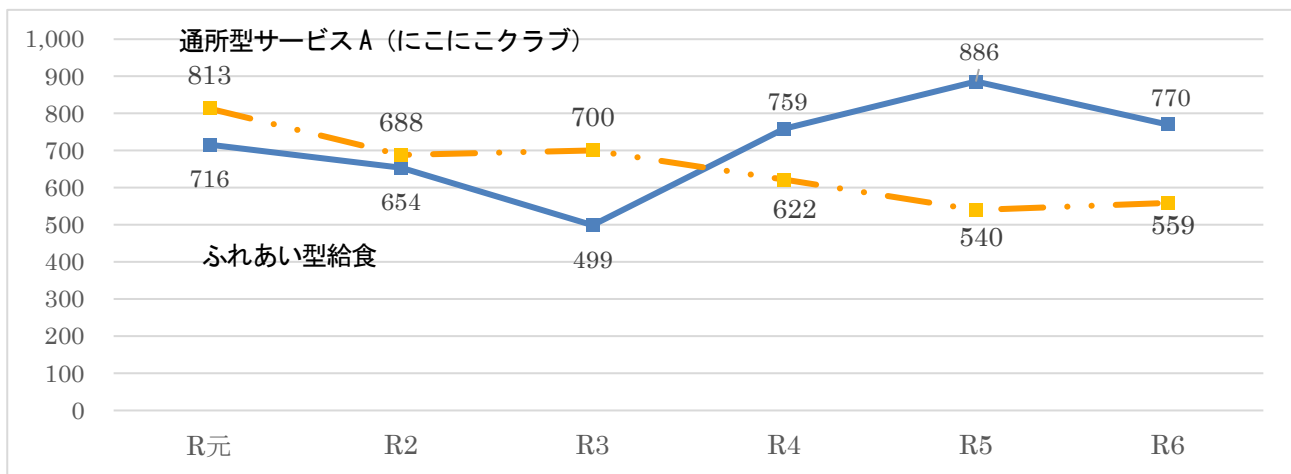
・毎日給食（延べ配食数合計、単位：食）

・外出支援（延べ提供回数合計、単位：回）



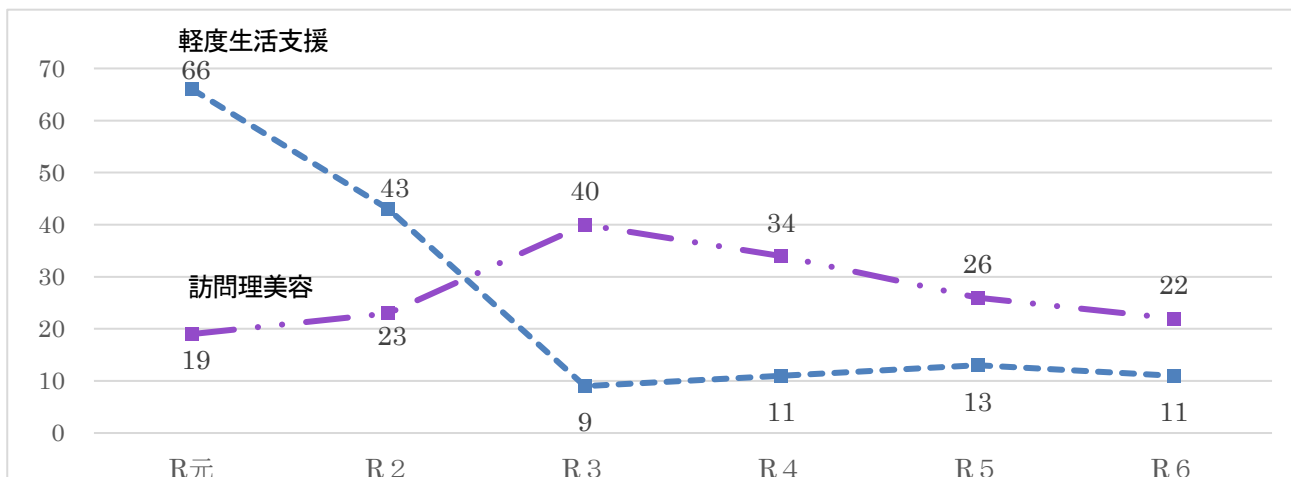
・にこにこクラブ（延べ提供回数合計、単位：回）

・ふれあい型給食（延べ配食数合計、単位：食）



・訪問理美容（延べ提供回数合計、単位：回）

・軽度生活支援（延べ提供回数合計、単位：回）



(1) 軽度生活支援事業

■対象者：概ね65歳以上の高齢者で、一人暮らし高齢者・高齢者世帯等、日常生活上の援助が必要な方

■内 容：掃除、洗濯、調理、他軽易な日常生活上の援助

■提供者：ホームヘルパー

延べ利用者数（人）	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
6年度	0	11	0	11
5年度	0	13	0	13
4年度	0	10	0	10
前年度比較（%）	—	84.6	—	84.6
4年度比較（%）	—	110.0	—	110.0
延べ提供回数（回）	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
6年度	0	12	0	12
5年度	0	13	0	13
4年度	0	11	0	11
前年度比較（%）	—	92.3	—	92.3
4年度比較（%）	—	109.0	—	109.0

【成果・課題】

- ・現在は資源ごみ回収だけの活動となり、2カ月に1回程度の活動となっている。

(2) 外出支援事業

■対象者：概ね65歳以上の高齢者、または概ね60歳以上の高齢者であって下肢が不自由な方で、一般の交通機関の利用が困難な方

■内 容：自立生活を維持し、要介護状態への進行を防止するために必要と認められる通院や買い物等の送迎

■提供者：運転手

	延べ提供回数（回）
6年度	4,210
5年度	4,562
4年度	4,812
前年度比較（%）	92.3
4年度比較（%）	87.5

【成果・課題】

- ・利用者のご協力により相乗りで送迎を行うことが出来、送迎効率が上がった。
- ・京都中部医療センターや綾部市民病院への送迎が増えており、迎えの時間が合わず待つていただくことが増えている。
- ・利用者や利用回数でみると下半期（10月以降）に増加傾向であった。新規の利用や冬場の体調不良等による通院が増えたことが増回につながったのではないかと分析する。

(3) - 1 食の自立支援事業（毎日給食）

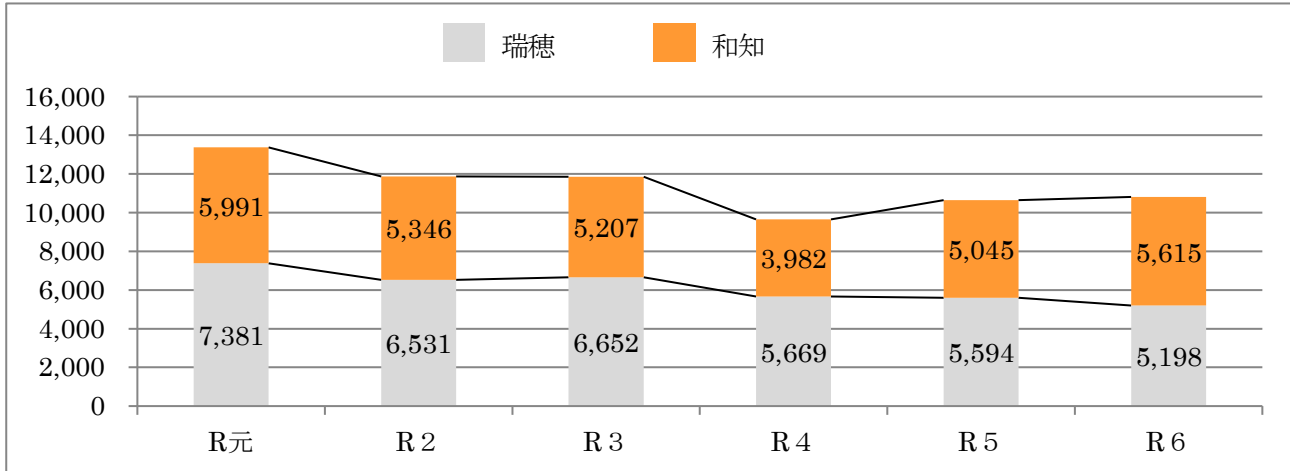
■対象者：調理が困難な一人暮らし高齢者

■地 区：瑞穂地区、和知地区のみ ※丹波地区は丹波高原荘が実施

■内 容：栄養バランスのとれた夕食弁当の宅配

■利用料：1食 600円（ご飯、おかず）、550円（おかずのみ）

※地区ごとの利用者数の推移（単位：提供配食数）



延べ利用者数（人）	瑞 穂	和 知	合 計
6年度	2 8 3	3 9 0	6 7 3
5年度	3 1 4	3 2 5	6 3 9
4年度	3 4 2	2 7 1	6 1 3
前年度比較（％）	9 0 . 1	1 2 0 . 0	1 0 5 . 3
4年度比較（％）	8 2 . 7	1 4 3 . 9	1 0 9 . 8
延べ提供食数（食）	瑞 穂	和 知	合 計
6年度	5, 1 9 8	5, 6 1 5	1 0, 8 1 3
5年度	5, 5 9 4	5, 0 4 5	1 0, 6 3 9
4年度	5, 6 6 9	3, 9 8 2	9, 6 5 1
前年度比較（％）	9 2 . 9	1 1 1 . 3	1 0 1 . 6
4年度比較（％）	9 1 . 7	1 4 1 . 0	1 1 2 . 0

【成果・課題】

- ・急な配食依頼にも対応し新規利用者にも迅速に対応出来た。
- ・瑞穂地区、和知地区ともに新規利用者が増えているものの、急な入院や入所となられ変動が激しい1年であった。

(3) - 2 食の自立支援事業（ふれあい型給食サービス）

■対象者：一人暮らし高齢者・高齢者世帯等（和知地区）

■内 容：調理・配食ボランティアによる月2回実施の「かけはし弁当」

■利用料：1食 400円

	配食数（食）	調理ボラ数（人）	配食ボラ数（人）
6年度	7 7 0	1 1 4	2 2 0
5年度	8 8 6	1 0 6	2 1 9
4年度	7 5 9	9 7	2 4 8
前年度比較（％）	8 6 . 9	1 0 7 . 5	1 0 0 . 5
4年度比較（％）	1 0 1 . 5	1 1 7 . 5	8 8 . 7

【成果・課題】

- ・月2回の配食をととても楽しみにされている。
- ・利用者の変動が大きく、食数は減少傾向にある。

(4) 訪問理美容事業

■対象者：理美容院に出向くことが困難な高齢者等

■内 容：社協に登録された理美容師が訪問し理美容を行う。

■利用料：1回 1,000円

延べ利用者数 (人)	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
6年度	9	8	5	22
5年度	9	11	6	26
4年度	11	11	12	34
前年度比較 (%)	100.0	72.7	83.3	84.6
4年度比較 (%)	81.8	72.7	41.7	64.7

【成果・課題】

- ・新規利用者は1件で、利用者が年々減少傾向にある。

(5) 通所型サービスA事業（にこにこクラブ）

■対象者：総合事業対象者の高齢者。

■内 容：4班体制で、月2回、健康観察と体操を取り入れ、介護予防や健康維持を目的に実施

■会 場：主会場は、和知高齢者コミュニティセンター

月	開催日	参加者数	月	開催日	参加者数
4月	16日、18日	27	10月	8日、10日、22日、24日	59
5月	14日、16日	29	11月	5日、7日、19日、21日	56
6月	4日、6日、18日、20日	59	12月	3日、5日、17日	58
7月	9日、11日、23日、25日	56	1月	21日、23日	28
8月	20日、22日	28	2月	4日、6日、18日、20日	50
9月	3日、5日、19日	57	3月	4日、6日、18日	52
合 計					559
5年度実績					540
前年度比 (%)					103.5

【成果・課題】

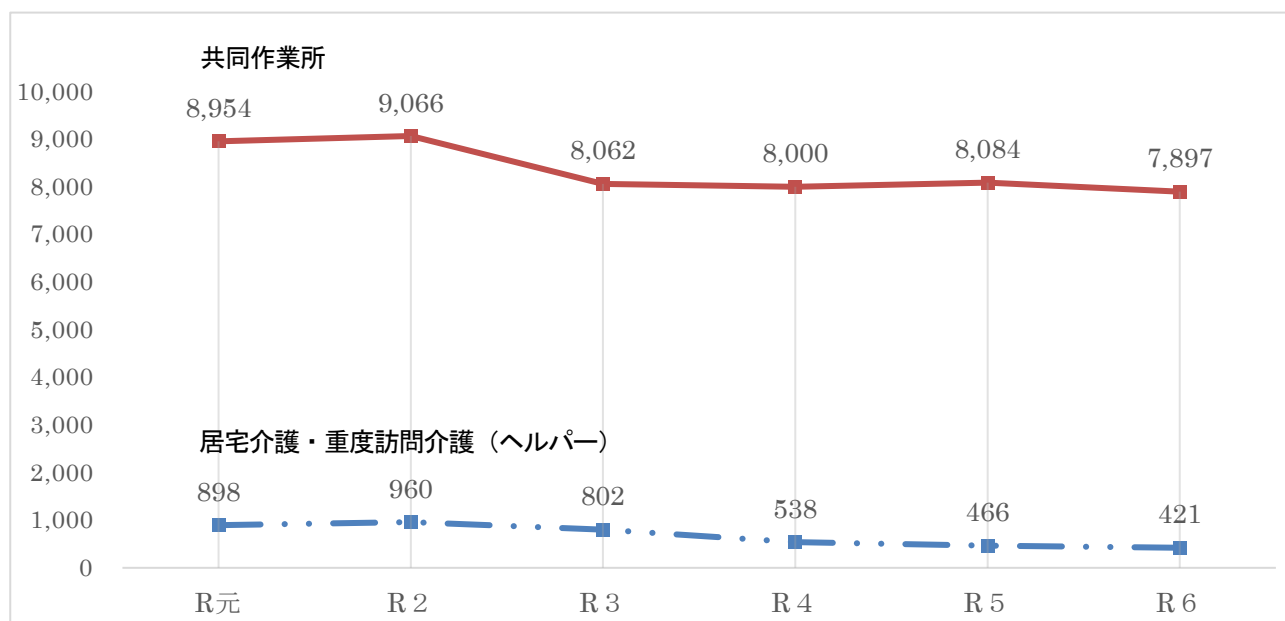


(写真は合同開催の様子) 歌・体操・脳トレ、いつも出会わない方とおしゃべりにも花が咲く参加者。帰るときは心も足取りも軽くなる様子で、月2回ではあるが、介護予防の意義を実感している。

【障害者福祉事業】

1 障害者総合支援事業

※利用状況の推移（延べ提供回数合計、単位：回）



（1）居宅介護・重度訪問介護事業

■ホームヘルパーによる在宅支援活動

延べ利用者数 (人)	障害支援 区分 1	障害支援 区分 2	障害支援 区分 3	障害支援 区分 4	障害支援 区分 5	障害支援 区分 6	合 計
6年度	0	33	34	12	0	0	79
5年度	0	43	25	20	0	0	88
4年度	7	40	29	17	0	0	93
前年度比較 (%)	■	76.7	136.0	60.0	■	■	89.7
4年度比較 (%)	—	82.5	117.2	70.6	—	—	84.9
延べ提供回数 (回)	障害支援 区分 1	障害支援 区分 2	障害支援 区分 3	障害支援 区分 4	障害支援 区分 5	障害支援 区分 6	合 計
6年度	0	212	139	70	0	0	421
5年度	0	333	60	73	0	0	466
4年度	42	360	47	88	0	0	538
前年度比較 (%)	■	63.6	231.6	95.8	■	■	90.3
4年度比較 (%)	—	58.8	295.7	79.5	—	—	78.3

【成果・課題】

- ・手指消毒、うがい等の感染対策を継続し、提供側の体調も考慮しながらサービス提供が行えた。
- ・提供回数の多い利用者が亡くなられ、減少となった。

(2) 障害者共同作業所運営事業

障がいのある方の自立を目指し、生活能力向上の支援や就労訓練を行う。

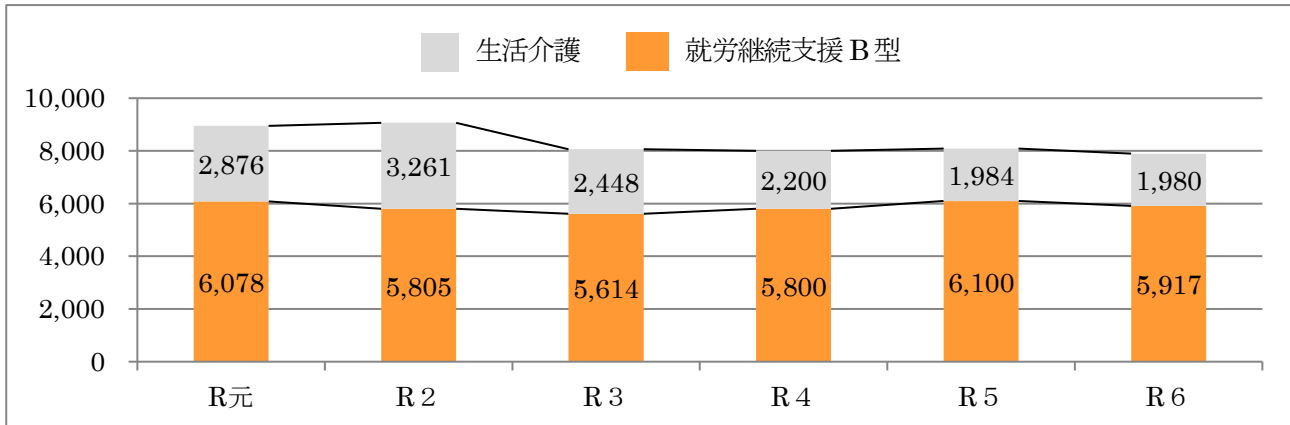
【生活介護】

創作的活動や生産的活動の機会を提供し身体的機能や生活能力向上のための援助を行う。

【就労継続支援B型】

一般就労に向けて必要な知識や能力の向上を目的に、生産活動やその他の活動を通して本人に合った訓練や支援を行う。

※利用実績の推移（単位：提供回数）



①利用実績

延べ利用者数 (人)	生活介護	就労継続支援B型	合 計
6年度	1, 9 8 0	5, 9 1 7	7, 8 9 7
5年度	1, 9 8 4	6, 1 0 0	8, 0 8 4
4年度	2, 2 0 0	5, 8 0 0	8, 0 0 0
前年度同期比 (%)	9 9. 7	9 7. 0	9 7. 6
4年度同期比 (%)	9 0. 0	1 0 2. 0	9 8. 7

■利用者数（令和7年3月末現在）

就労継続支援B型 … 40名（定員42名）

生活介護 … 12名（定員18名）

合計 52名（定員60名）

■入退所者数

入所者… 8名

退所者… 2名 退所（死亡1名・その他（自己都合による）1名）

②販売会（自主製品の販売を通して啓発や工賃アップにつなげる）

販売会名	開催日	会場
きょうされん京都支部総会	5月11日（土）	ガレリア亀岡
京都府障害者スポーツレクリエーション	5月26日（日）	丹波自然運動公園
きのことギャザリング	6月1日（土）	グリーンランドみずほかがやき広場
下山グリーンハイツ区夏まつり	7月20日（土）	グリーンハイツ区内
わちふるさと祭り	8月24日（土）	和知駅前
上和知中部村まつり	11月4日（月・振休）	わち夢広場
3事業所合同販売会（陽だまり・日和舎・京丹波町共同作業所）	12月14日（土）	丹波マーケス店
子ども応援広場	3月22日（土）	旧質美小学校体育館

■作業所連絡会（月一回開催、入所判定、支所からの報告）

4月から3月まで、毎月1回開催

③研修会

研 修 名	開催日	内 容	会場
職員全体会議	4/1(月)	R 6 年度事業計画、職務分担等	丹波本所
就労移行研修会	9/10・13・20	就労移行サービス、障害者雇用等について	京都テルサ
成年後見制度研修会	9/26(木)	成年後見制度について	京丹波町役場
虐待防止研修	2/28(金)	作業所職員対象 事例検討グループワーク	作業所本所
感染症予防研修	3/19 (水)	作業所職員対象 感染症について講義、手洗いチェッカー他	作業所本所

④避難訓練

各支所で地震を想定した避難訓練と、火災を想定した避難訓練を1回ずつ実施した

⑤実習生受け入れ（いずれも丹波本所で受入れた）

令和6年9月17日（火） 舞鶴支援学校高等部3年生 1名

令和7年2月27日（木） 丹波支援学校高等部1年生 1名

⑥地域交流（ボランティア）

団体名	開催日	内 容
十三の会	4月～11月 毎週1回	和知支所アルミ缶回収 ネギの調整

※個人ボランティア 丹波本所 毎週 水・木曜日に1名

⑦職場実習

就労を目指している方の職場実習 1名

実習先（トライアル雇用）	実習期間	内容
大崎農園	～7月9日まで	ネギ水耕栽培管理他

【成果・課題】

- ・下請け作業が比較的定期的に入ってくるようになったが、単価が安く利用工賃に反映するまでは行かない、引き続き工賃アップに向けた取組みを検討する。

2 特定障害者指定相談支援事業（相談支援センターにじ）

- 目的：障がいのある方が、自立した日常生活又は社会生活を営むことが出来るよう、保健、医療、福祉、就労、教育等の関係機関と緊密な連携を図りつつ、一人ひとりの意向、適正、特性等に応じ、適切かつ効果的な相談支援を行う。

■実績

	新規契約	計画書作成	モニタリング作成
6年度	14	25	20
5年度	5	40	44
4年度	3	35	32
前年度比較 (%)	280.0	62.5	45.5
4年度比較 (%)	466.7	71.4	62.5

【成果・課題】

- ・地域資源が少ない中で、町外事業所とのサービス調整が増加傾向にある。
- ・今年度は、行政への福祉サービス利用の相談が多く、新規契約者が増加。また、入院患者の地域移行に向けての相談も多かった。
- ・関係者間での情報共有（連携）や利用者（ご家族）との良好な関係性の構築のもと、適切な福祉サービス利用調整を提供していくことが、より一層求められている。

3 ひきこもり等居場所づくり支援事業（にじの家）

- 目的：ひきこもり状態の方やその家族が気軽に利用できる居場所を開設し、当事者等からの相談に応じて必要な情報提供及び助言を行うとともに、関係機関と連携を図り、地域における自立と社会参加の促進を図ることを目的とする。

■内容

(1) 居場所「にじの家」の開設・運営

当事者が自宅以外で過ごせる居場所として「にじの家」を開設する。当事者やその家族の社会的孤立を解消し、自宅以外で落ち着いて過ごせる空間としての「居場所」を運営する。また、必要に応じて専門機関と連携するなどの相談窓口機能も担う。

(2) 「当事者の会」と「家族の会」を分けることで、それぞれのニーズを汲み取る

ニーズに合わせた柔軟な活動内容提供により、利用しやすい環境にする。創作活動や家族交流会、中間的就労支援等、当事者の希望に応じながら柔軟に対応していく。

(3) 自宅訪問によるアプローチ

関係者や地域住民、当事者家族に、居場所「にじの家」の活動内容の周知、浸透の促進を図る。

■利用状況

※延べ参加人数

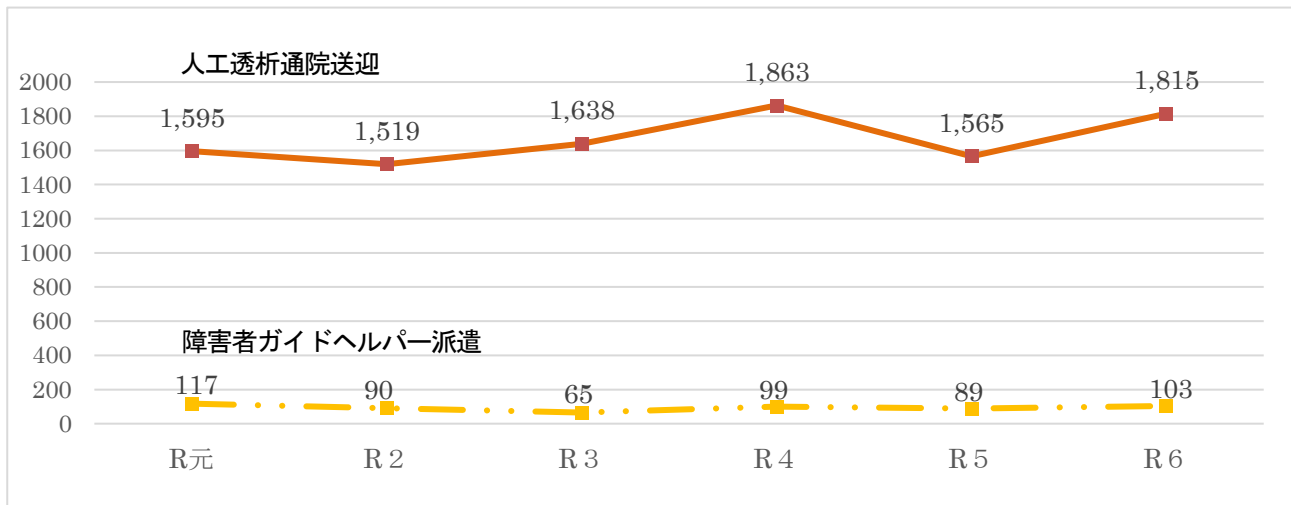
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当事者	0	3	1	2	2	2	3	3	2	3	3	3
家族	0	3	2	3	2	4	1	2	2	2	1	2

【成果・課題】

- ・作品展示会（コレカラー展）の開催に向け講師を招き、作品の製作に取り組めた。社会との繋がりやのきっかけとなるよう、今後も継続して開催していく。また、様々な地域団体との交流も積極的に行い、中間的就労支援としても、公共施設の清掃業務委託や社協の地域活動の場を、引き続き提供できる体制を取っていく。

2 障害者等生活支援事業

※利用状況の推移（延べ提供回数、単位：回）



（1）重度心身障害児・者通院通所事業

①人工透析通院送迎

■対象者：人工透析患者

■内 容：人工透析のための通院送迎

■提供者：社協外出支援運転手、ホームヘルパー

延べ利用者数（人）	瑞穂発（R9）	和知発（R27）	合 計
6年度	1 6 7	7 5	2 4 2
5年度	1 7 2	8 4	2 5 6
4年度	1 5 8	7 0	2 2 8
前年度比較（％）	9 7. 1	8 9. 3	9 4. 5
4年度比較（％）	1 0 5. 7	1 0 7. 1	1 0 6. 1
延べ提供回数（回）	瑞穂発（R9）	和知発（R27）	合 計
6年度	9 3 9	8 7 6	1, 8 1 5
5年度	9 3 9	6 2 6	1, 5 6 5
4年度	9 3 9	9 2 4	1, 8 6 3
前年度比較（％）	1 0 0. 0	1 3 9. 9	1 1 6. 0
4年度比較（％）	1 0 0. 0	9 4. 8	9 7. 4

【成果・課題】

- ・高齢化とともに車の乗り降りがしづらく、介助が必要になり、透析室から公用車までの移動や公用車から透析室までの移動の際に、車いす介助をする機会が増えている。

（2）障害者ガイドヘルパー派遣事業

	延べ利用者数（人）	延べ提供回数（回）
6年度	9 2	1 0 3
5年度	4 7	8 9
4年度	5 4	9 9
前年度比較（％）	1 9 5. 7	1 1 5. 7
4年度比較（％）	1 7 0. 4	1 0 4. 0

【成果・課題】

- ・新しいガイドヘルパーの協力もあって、京都南部から北部まで広範囲にわたって同行派遣が行えた。

【児童福祉事業】

1 ファミリー・サポート・センター事業

① 各会員登録状況（3月末）

会 員 名	R 6 年度末	新規登録者数	退会者数
依頼会員（おねがい会員）	7 0	9	1 0
提供会員（あずかり会員）	5 0	7	3
両 方 会 員	2 1	2	4

② 研修会交流会の開催・・・あずかり会員養成研修会、会員交流会

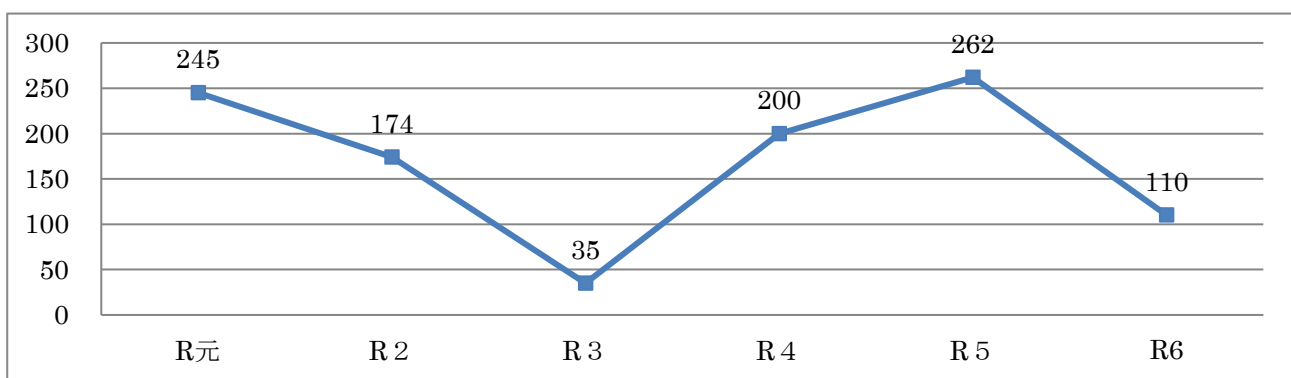
項 目	日時・場所	内 容
利用体験会	6 月 21 日 (金) 9:40～11:00 京丹波町子育て 支援センター	内容：第一回「ファミサポ体験会」 ファミリー・サポート・センターを初めて利用する人を 対象にした利用体験会 利用人数：3 名 託児スタッフ：3 名
フォローアップ 講習会	7 月 18 日 (木) 10:00～11:30 京丹波町健康管 理センター	内容：『防災について一緒に考えよう ～ひとりひとり違う防災のあり方～』 講師／依頼会員 千田 紫寿香 氏 参加者：4 名（提供会員 1 名、依頼会員：1 名、両方会員 1 名、会員子ども：1 名）
あずかり会員養成 講習会	7 月 2 日 (火) 7 月 11 日 (木) 9:00～16:00 京丹波町健康管 理センター	内容： <1 日目> 「子どもの安全と病気の世話」 講師／健康推進課 栗原 天音 氏 「あずかり会員として活動するために」 説明／京丹波町社会福祉協議会地域福祉課 谷山 啓子 「受講生交流」 「救急時対策と応急処置」 講師／赤十字幼児安全指導員 小林 和博 氏 村岡 和恵 氏 <2 日目> 「京丹波町の現状と子育て支援について」 講師／子育て支援課 栗原 有希 氏 「子どもの権利と社会的養護」 講師／京都府家庭支援総合センター 大戸 淳志 氏 （里親体験談）両方会員 早川 公雄 氏 早川 知子 氏 「子どもの発達に応じた関わり方」 講師／健康推進課 石原 詩子 氏 「子どもの社会性と遊びについて」 講師／わちこども園 大秦 優子 氏
利用体験会	9 月 19 日 (木) 9:40～11:00 京丹波町子育て 支援センター	内容：第二回「ファミサポ体験会」 ファミリー・サポート・センターを初めて利用する人を 対象にした利用体験会 利用人数：1 名 託児スタッフ：1 名

会員交流会	10月14日（月・祝） 9：30～11：30 京丹波町健康管理センター	内容：『子育て応援広場』 お下がり品のリサイクル、工作、食育、絵本の読み聞かせなど 参加対象：ファミリー・サポート・センター登録会員、ファミリー・サポート・センターに関心のある一般住民 参加者：60名（大人30名、子ども30名）
会員交流会	12月16日（月） 10：00～11：30 京丹波町健康管理センター	内容：『暮らしをラクにするお片付け基本講座』 整理収納の基本について学ぶ講座 講師：整理収納アドバイザー 森 愛 氏 参加者：5名（提供会員4名、両方会員1名）
提供・両方会員交流会	3月6日（木） 10：00～11：30 京丹波町中央公民館	内容『ヨガ教室』 ヨガ教室、会員交流会 講師：依頼会員 橋本 果遊 氏 参加者：4名（提供会員 4名）

③ 活動実績・・・調整状況

事業名	回数	内 容
マッチング	6	保護者の用事時の預かり、保護者の就労時の預かり、保護者の通院時の預かり
活動実績	110	習い事への送迎、及び支援学校行きのバス停までの送迎及び預かり、学童の開始前・終了後の預かり及び送迎、小学校の迎え及び預かり、保護者の用事時の預かり、保護者就労時の預かり、保護者の通院時の預かり
新規相談受付	9	電話、面談、訪問
連絡・調整	375	会員との活動調整、関係機関との連絡

※活動実績の推移（延べ提供回数、単位：回）



【成果・課題】

- ・今年度から子育て支援センターでファミサポの預かりができるようになり、子育て支援センターを利用されている方の登録が多くあった。また登録時に講習会の案内をしたところ、講座を受講し両方会員へ登録される方もおられた。
- ・利用体験会では、登録後一度も利用をされていない依頼会員や登録されていない方を対象に案内したところ4名の利用があり、マッチングや実際の利用につながった。
- ・子育て支援センターでファミサポの預かりができるようになり、活動ができる提供会員が増加した。

- ・あずかり会員養成講習会については、新規10名、現会員の追加受講5名、計15名の参加があり、新たに4名の方に提供会員・両方会員として登録いただいた。
- ・提供会員の知識及び技能向上として、フォローアップ講習会「防災について一緒に考えよう」を実施した。災害発生時に取るべき行動や、今からできる備えについて学び、防災について改めて考える良い機会になった。
- ・「子育て応援広場」では提供会員が特技を生かし、絵本の読み聞かせや工作の教え役などを担い、子育て世帯と交流を深める良い機会となった。
- ・配慮が必要な子育て家庭への支援については、依頼を受ける提供会員の負担が大きいため、関係機関と連携しながら活動に対応した。



▲預かり会員講習会（救命救急講習）



▲子育て支援センター（上豊田）での預かり



▲子育て応援広場の様子



【地域福祉推進事業】

1 啓発活動の展開

(1) 社協広報紙「ほほえみ」の発行

NO	発行月	内容等
67	令和6年4月	・職員配置図 ・赤十字運動 ・共同募金からのお知らせ ・福祉まつり ・作業所NEWS ・相談事業のお知らせ ・ファミサポ ・社協会費 ・寄付お礼
68	令和6年6月	・令和6年度事業計画・予算 ・社協事業紹介 ・社協会費のお願い ・赤い羽根共同募金じぶんの町を良くする活動助成 ・相談事業のお知らせ ・第2期地域福祉活動計画 ・在宅福祉課よりお知らせ ・京丹波町災害ボランティアセンター ・ファミサポ ・作業所NEWS ・寄付お礼
69	令和6年9月	・令和5年度事業・決算報告 ・新役員・新評議員紹介 ・賛助会員・特別会員募集 ・令和6年度共同募金運動 ・年末買物支援助成事業 ・在宅福祉課よりお知らせ ・社会福祉体験学習・ほのボラのページ ・ファミリー・サポート・センターよりお知らせ ・作業所NEWS ・寄付お礼 ・相談事業のお知らせ
70	令和7年1月	・新春メッセージ ・社協会費お礼・福祉大会受賞者報告 ・相談事業のお知らせ ・歳末たすけあい募金（年末大掃除・お買い物バス） ・コレカラー展 ・ほのボラ ・福祉まつり ・ファミサポ ・作業所NEWS ・寄付お礼

【成果・課題】

- ・事業のお知らせや活動の報告はもちろん、社協会員入会のお願いや賛助会員・特別会員募集など、財政改善に向けた取組みの一環として広報紙の紙面を活用することができた。今年度も福祉まつりやコレカラー展など、住民・関係者の方など多くの方が関わった事業について特集をした。

(2) facebook（フェイスブック）での情報発信

京丹波町社協の事業に関する情報や町内の地域福祉活動の取組み等について、迅速に情報提供することを目的に facebook（フェイスブック）による情報発信を行う。

①投稿実績 43回

(3) 福祉まつりの開催

今年度はワークショップ（体験）型の福祉まつりとして開催し、ボランティア体験ブースやひきこもりの方々を支援している「にじの家」の創作活動コーナーなどを実施した。

また、住民に呼びかけた「福祉標語」では小学生から一般の方まで総数22点の応募があり、グランプリ作品は今後社協の広報紙に掲載するなど住民を巻き込んだまつりとして開催できた。

- 日 時 令和6年12月1日(日) 午後1時30分～午後3時45分
- 場 所 山村開発センターみずほ
- 内 容 ○福祉標語グランプリ発表・表彰
○体験コーナー
- ・ボランティア活動体験（要約筆記・手話・朗読）
 - ・たんぽぽ広場（グラスジェムコーンチャーム）
 - ・にじの家（紙染め体験）
 - ・コロコロキッズアートクラブ（クリスマスキャンドルグラス）
 - ・オレンジロードつなげ隊（認知症啓発）
 - ・共同募金コーナー（募金箱）
 - ・和知人形浄瑠璃体験（人形に触れる）
 - ・己書体験

■参加数 63名



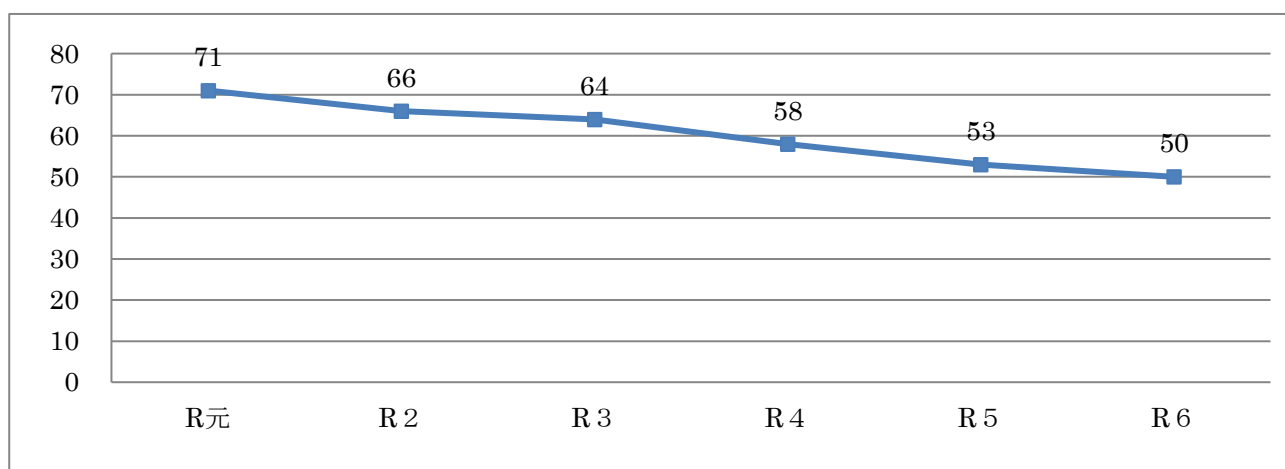
2 地域で安心した生活を送るために・・・“つながり”を大切に活動の展開

(1) ふれあいいきいきサロン活動の展開

① ふれあいいきいきサロン各地区の設置状況

丹波地区	瑞穂地区	和知地区	合計
(令和6年度実績) 22サロン 障害者サロン1 広域サロン1を含む	(令和6年度実績) 23サロン	(令和6年度実績) 5サロン 広域サロン1を含む	(令和6年度実績) 50サロン
(令和5年度実績) 23サロン 障害者サロン1 広域サロン1を含む	(令和5年度実績) 24サロン	(令和5年度実績) 6サロン 広域サロン1を含む	(令和5年度実績) 53サロン

※サロン設置数の推移



【成果・課題】

- ・今年度は、サロン数の減少が見られた。原因は、活動者の後継者の不足によるものと思われる。また、これまでのサロンは、活動者と参加者が明確に分かれているため、活動者の負担が大きかったのも原因と考えられる。他にも、「まだサロンに行く年齢ではない」という声もあり、サロン＝高齢者というイメージが住民に強いこともサロン数が増えない原因とみられる。
- ・しかし、数カ所のサロンでは、全員が活動者であり参加者でもあるという形で活動されているところもある。このような活動が今後のサロンの在り方の1つであるとして、取組みについての情報発信を行い活動を広げていくことが課題解決につながると考えている。



(2) 小地域ボランティア高齢者支援事業

① 傾聴ボランティアによる訪問活動の展開

	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
定例会回数	1 2 回	5 回	1 1 回	2 8 回
訪問回数	4 2 回	1 2 回	5 7 回	1 1 1 回
延べ訪問活動者数	4 2 名	3 2 名	6 8 名	1 4 2 名
延べ活動者数	7 8 名	4 6 名	1 2 3 名	2 4 7 名
訪問対象件数	6 名	6 名	6 名	1 8 名
サークル員数	3 名	3 名	6 名	1 2 名

【成果・課題】

- ・養成講座を実施しているが活動者の増加には繋がっていない。

(3) 京丹波町見守りネットワーク事業（絆ネット支援事業）・・・京丹波町委託事業

地域住民や事業者の方々が、日常生活や業務の中で異変や困りごとに気づいた時に、社協へ連絡していただくことで関係者が状況確認を行い、より多くの目で地域をさりげなく見守る活動を行う。

■京丹波町見守りネットワーク事業協力事業所登録数 **69事業所**

■通報件数 **4件**

【成果・課題】

- ・通報は4件あり安否確認がとれた。
- ・通報時には関係機関と連携し、職員が出向くなどして確認を行っている。
- ・今後も引き続き協力事業所を少しずつでも増やしていき、見守り活動や地域活動にも協力してもらえ
る機会をつくっていききたい。

3 住民参加の地域福祉推進事業

(1) 社会福祉体験学習事業の実施

夏休みの期間を活用し、町内在住の中学生・高校生を対象に生徒の自主的な参加のもと、3日間福祉施設等での体験を通じて福祉について学びを深める。

開 催 日	内 容	参加人数
7月30日・8月1日・2日	みずほこども園（中学生）	1名
中 学 生 参 加 者 合 計		1名
高 校 生 参 加 者 合 計		0名
参 加 者 合 計		1名

【成果・課題】

- ・参加した生徒は中学3年間を通して継続した参加となり、落ち着いて活動することができていた。継続して参加することで、子どもの生活や先生方の仕事の様子もよく分かったように感じた。
- ・参加生徒にとっては、進路を考えるなかでの参加で貴重な体験となっている。



(2) デイサービスキッズボランティア体験学習の実施

中高生の福祉体験学習を実施する中で、子どもたちの福祉離れを感じることもあり、小学生から福祉に触れ合うきっかけ作りの場として実施。

開催日	内 容	延べ参加人数
令和7年 3月25日(火)～3月29日(土)	デイサービスセンター ほほえみ	7名
令和7年 3月30日(日)～4月4日(金)	クローバーデイサービス	3名
小学生参加者合計		10名
中学校生参加者合計		0名
参加者合計		10名

【成果・課題】

- ・コロナ禍以降約5年ぶりにキッズボラを実施することができた。4名(応募は5名)の方に活動していただいた。各事業所の利用者と交流されている姿をみるとお互いが楽しそうに会話をされたり、折り紙をされたり貴重な時間であったように感じる。
- ・町内の高齢者の生活を知ることと普段の暮らしの中で、高齢者に限らず、地域の方に対して思いやり心を感じてもらいたい。
- ・令和7年度は夏休みの実施に向けて受入事業所の拡大も視野に入れ準備を進めていきたい。

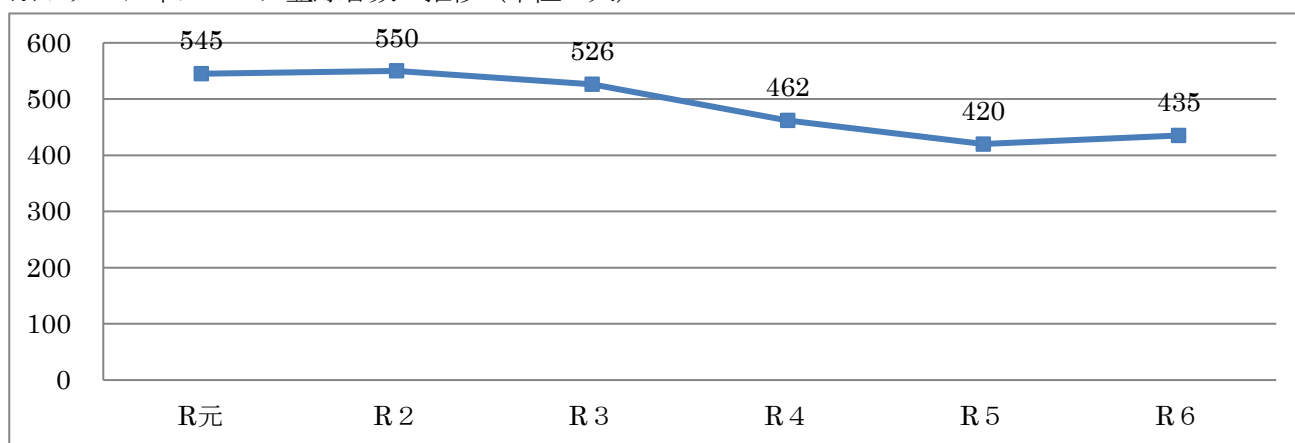


【ボランティア振興事業】

1 ボランティアバンク登録状況

	性別	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	合 計
丹波	男	8	0	0	2	3	16	29
	女	8	7	11	9	33	119	187
	計	16	7	11	11	36	135	216
	前年	24	5	14	14	34	120	211
瑞穂	男	0	0	0	1	0	11	12
	女	0	0	0	2	18	80	100
	計	0	0	0	3	18	91	112
	前年	0	0	1	4	24	92	121
和知	男	0	0	0	1	1	11	13
	女	0	0	1	2	25	66	94
	計	0	0	1	3	26	77	107
	前年	0	0	1	4	26	57	88
合 計		16	7	12	17	80	303	435
前年度		24	5	16	22	88	265	420
比較 (%)		66.7	140.0	75.0	77.3	90.9	114.3	103.6

※ボランティアバンク登録者数の推移（単位：人）



2 ボランティア活動状況報告

（1）ボランティアグループ活動報告

①丹波地区

NO	ボランティアグループ名	年間活動回数	年間活動延べ人数
1	要約筆記ボランティア「イヤフレンズ」	50回	91名
2	朗読ボランティア「ともしび」	24回	120名
3	モンキーズ&ハッピーサークル	3回	16名
4	演芸ボランティア「民謡みやび会」	3回	32名
5	演芸ボランティア「瑞舟会」	40回	120名
6	演芸ボランティア「苑の会」	4回	14名
7	演芸ボランティア「すみれ会」	3回	9名
8	お誕生カードボランティア「すずらん」 ※(R6で休会)	0回	0名
9	絵手紙ボランティア	11回	43名
10	保育ボランティア	12回	27名

11	美容ボランティア「愛（めぐみ）の会」	10回	50名
12	豊田あじさいの会	11回	84名
13	グリーンハイツすみれ会	64回	190名
14	富田萩の会	12回	101名
15	傾聴ボランティア「うさぎの耳」	54回	78名
16	アロハフラピカケ	39回	187名
17	遊び広場もこもこ	17回	51名
18	和太鼓「えん」	108回	1,048名
19	和太鼓「結輪」(R6で休会)	0回	0名
20	京丹場 SUN3 協会	9回	35名
21	フィールイングリッシュ(休会中)	0回	0名
22	コーラスカナリア	20回	176名
丹波支所活動計（イ）		494回	2,472名

②瑞穂地区

NO	ボランティアグループ名	年間活動回数	年間活動延べ人数
1	収集ボランティア「めぐみ」	6回	20名
2	要約筆記ボランティア「ささやき」	6回	6名
3	朗読ボランティア「あかり」	13回	46名
4	暮らしの応援ボラ手作り介護用品「コスモス」	7回	34名
5	押し花ボランティア「花かご」	10回	49名
6	傾聴ボランティア「なかよし会」	17回	46名
7	京丹波スリーA	9回	55名
8	くるみの会	13回	36名
9	手話サークル「ありんこ」	21回	77名
瑞穂支所活動計（ロ）		102回	369名

③和知地区

NO	ボランティアグループ名	年間活動回数	年間活動延べ人数
1	要約筆記サークル「くさぶえ」	41回	72名
2	朗読ボランティア「こだま会」	12回	56名
3	ガイドヘルパー「みちづれ」	60回	60名
4	十三の会	63回	85名
5	七八会	0回	0名
6	虹の会	68回	123名
7	お誕生カードづくりボランティア「天花」	10回	26名
8	手芸ボランティア「モチーフ」	5回	21名
9	ふれあい給食サービス「調理ボランティア」	20回	113名
10	ふれあい給食サービス「配食ボランティア」	20回	220名
11	彩いろグループ	15回	147名
12	才原グループ「ふきのとう」	5回	10名
和知支所活動計（ハ）		319回	933名
総 合 計（イ+ロ+ハ）		915回	3,774名

（２）個人ボランティア活動報告

活 動 内 容	活動回数	活動者数
京丹波町身体障害者福祉会体育大会のボランティア支援	1回	3名
第40回全京都車いす駅伝競走大会	悪天候のため中止	

ふれあい給食「かけはし弁当」帯び絵原画書き	20回	20名
ふれあい給食「かけはし弁当」帯び絵名前書き	2回	2名
保育ボランティア	12回	27名
配食ボランティア（瑞穂地区）	210回	388名
合 計	245回	440名

【成果・課題】

- ・昨年度から引き続き和知小学校の児童に毎日給食の帯絵の色塗りをお願いしている。また、今年度は夏休みを利用し配食（利用者宅に夕食のお弁当を届ける）ボランティアも体験してもらった。このような取り組みをとおして、小学生に気軽にボランティアを体験できる機会をつくりボランティアや自分の住む町に対する関心をもつきっかけになればと思う。
- ・ボランティア活動の継続が難しい団体が増えてきている。活動者の高齢化や、担い手不足が原因と聞く。
- ・ボランティア育成研修やボランティア活動体験などを検討し、京丹波町内のボランティア活動の向上を目指していく。



3 ボランティア研修・講座・交流会の開催

（１）サロン活動者交流会・傾聴講座

研修・講座名	開催日・場所・参加人数	内 容
お喋りコンパス ～ごきげんな ココロさがし～ (傾聴ボランティア 育成研修と同時開催)	令和7年3月8日(土) 9:30～11:30 京丹波町役場本庁 2階大会議室 31名参加	① 認知症を正しく理解し 地域でともに生きる (認知症ステップアップ講座) ② お喋りコンパス ～ごきげんなココロさがし～ ・寄り添い、聴くことの大切さ ・物事を伝える時も寄り添うことが必要。言葉の説明だけではなく、相手に寄り添うことで、相手が分かりやすいように、相手のことを思って伝えることが大切。 ・2人1組でのワーク



▲サロン活動者交流会・傾聴講座

(2) 京丹波町内の住民主体の移動支援 発表会

研修・講座名	開催日・場所・参加人数	内 容
京丹波町内の住民主体の移動支援 発表会	令和6年10月26日(土) 9:30~11:30 京丹波町中央公民館 18名参加	京丹波町内で住民主体の移動支援に取り組まれている活動者から取組みの発表。 社協より町内の住民ニーズの報告。 ・移動手段の再確認と地域での重要性、必要性について ・地域に広げていく方向性 ・行政との連携



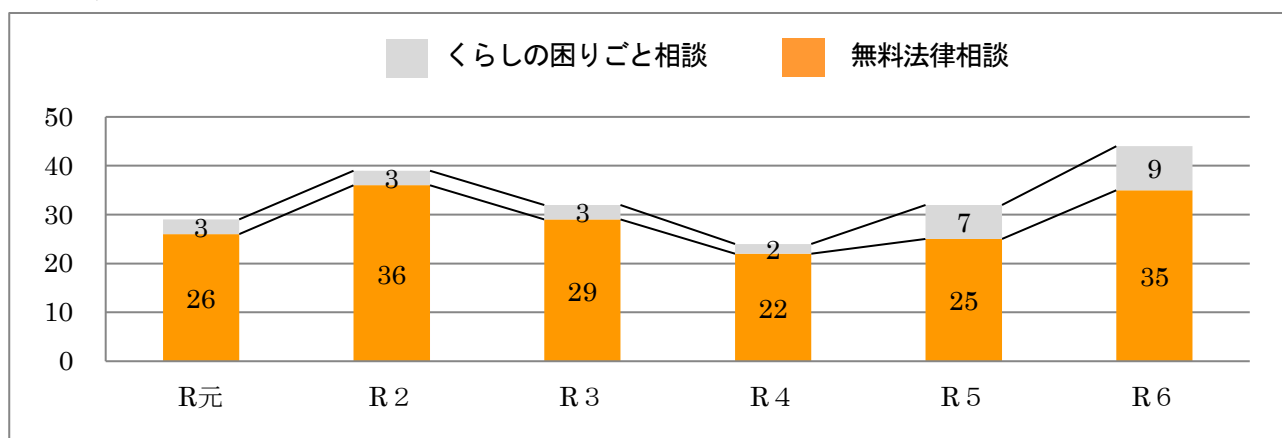
▲京丹波町内の住民主体の移動支援 発表会

【厚生福祉事業】

1 心配ごと相談事業

※来談者の推移（「心配ごと相談」はH29より「くらしの困りごと相談」に名称変更。）

（単位：人）



くらしの困りごと相談	開催日	来談者	無料法律相談	開催日	来談者
和知	4月17日	1	瑞穂	4月8日	5
丹波	5月13日	2	丹波	5月13日	3
瑞穂	6月12日	0	和知	7月8日	5
和知	7月17日	1	瑞穂	8月5日	3
丹波	8月7日	1	丹波	10月7日	5
瑞穂	9月11日	2	和知	11月11日	2
丹波	10月7日	0	瑞穂	12月9日	4
和知	11月13日	1	丹波	2月10日	5
瑞穂	12月18日	0	和知	3月10日	3
和知	1月8日	0			
丹波	2月10日	0			
瑞穂	3月12日	1			
合 計		9件	合 計		35件
5年度実績合計		7件	5年度実績合計		25件

【成果・課題】

- ・相続に関する相談が多かった。
- ・町広報紙や社協だよりで広報しているが、困りごと相談所の開設日の情報が知られていないように感じる。

2 福祉資金貸付事業

低所得世帯や障がい者・高齢者が属する世帯を対象に、その世帯の状況・必要性に応じて無利子または低利で資金を貸し付ける事業。

(1) 新規貸付状況

	丹波地区	瑞穂地区	和知地区	合計
生活福祉資金貸付	2	0	1	3
くらしの資金貸付	0	0	0	0

【成果・課題】

- 生活福祉資金では、緊急小口資金2件、福祉資金（福祉費）1件の貸付を行った。その他、緊急小口資金1件について他市町村からの移管を受けた。その他、相談はあったが貸付条件に合わず貸付は行わなかった。

(2) 特例貸付フォローアップ事業

①窓口相談及び訪問等のアウトリーチ（※）による償還相談および手続き支援

（※）アウトリーチとは…支援が必要であるにもかかわらず届いていない人に対し、行政や支援機関などが積極的に働きかけて情報・支援を届けること。本事業では、借受人に対して訪問や電話による相談支援を行った。

○償還猶予・分割償還に係る周知・相談・申請手続き支援

○償還免除に係る案内（コールセンターの案内）

償還相談件数	アウトリーチ	借受人から	合計
	69件	15件	84件

上記のうち

猶予申請	分割申請	免除案内
2件	0件	0件

②未償還者及び未応答者等への生活状況・実態の把握

アウトリーチ	生活状況等が判明
54件	10件

生活状況等が判明したものうち

猶予申請	分割申請	免除案内	他機関等への連携など
2件	0件	3件	0件

③償還猶予中の借受人世帯の支援

○償還猶予中の見守り支援や生活再建に向けた支援

○自立相談支援機関等へのつなぎ、連携

○償還猶予の延長や償還免除に係る意見書作成

猶予中の支援	他機関等との連携	意見書作成
3件	3件	0件

【成果・課題】

- 償還等への未応答者に対して架電し、連絡が取れた方へは生活状況（就労状況や収入の状況など）の聞き取りを行った。
- 連絡がとれない方へは簡易書留で連絡がほしい旨の文書を郵送。郵送戻りの方、反応が無い方については登録住所への訪問を実施した。それでも連絡が取れない、行方が分からない方については、府社協へ住基調査の依頼を行った。

3 総合相談事業

(1) 相談受付内容

金銭関係	介護等相談	書類等手続き	その他	合 計
14	0	0	8	22
			成年後見、就労相談、草刈り、安否確認、食料不足	

(2) 相談対応結果

他機関紹介	多職種連携対応	社協事業対応	その他	合 計
4	9	6	3	22
無料法律相談、みちしるべ相談会、弁護士、労金	福祉支援課、役場和知支所、保健師、南丹保健所（就労相談）、弁護士、木津川市社協、	地権事業、共同作業所、フードバンク	制度説明、負債についてアドバイス	

【成果・課題】

- ・例年のように金銭関係の相談が多かった。
- ・今年度上半期は、成年後見（任意後見）や就労のこと、草刈りの他、町外に暮らす家族から京丹波町で暮らしている父を心配しての安否確認の相談があった。役場と連携し、本人宅へ訪問し、安否確認と困りごとについての傾聴をした。下半期には、負債関係の相談が多かった。中には個人事業主の方の相談もいくつかあった。
- ・相談は1件1件内容や相談者の置かれている状況が異なるので、聞き取りが非常に重要である。丁寧に1つ1つの困りごとに耳を傾け、状況にあった制度の案内や多職種での連携など、適切な対応ができた。

4 フードバンク

生活困窮等で支援を必要とされる世帯に対し、町内の事業所や住民から寄贈いただいた食材等を提供する。

	提供世帯数	ご寄付いただいた食材等
第1期（7月実施）	14世帯	米・レトルト食品・缶詰・乾物・調味料
第2期（12月実施）	16世帯	米・レトルト食品・缶詰・乾物・調味料

■町内の事業所のご協力

- ・株式会社創味食品 丹波工場
- ・石井食品株式会社 京丹波工場
- ・ファミリーマートFC 京丹波蒲生店

【成果・課題】

- ・フードバンクを申込みされた方だけでなく、役場や保健所など関係機関から困窮者への食料支援の要請がありその要望に応じて食料品を提供した。
- ・申込みをされた方には提供時に生活状況の聞き取りを行い、他に困りごとがないか確認をしている。その聞き取りのなかで、関係機関と連携し生活課題の解決に向けた支援が行えた。
- ・一方、様々な世帯から申込みを受けるなかで本事業の対象者として基準を定めることが難しい。

【福祉関係組織活動支援】

1 日赤社員増強運動

(単位：円)

項 目	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
社資協力募金額	573,411	473,255	411,210	1,457,876

2 共同募金実績

(1) 赤い羽根共同募金運動 ⇒ 10月を運動月間として住民のみなさんに協力依頼

項 目		内 容	合 計
募 金 額		令和6年度募金額	2,728,107 円
配 分 総 額		令和5年度募金の配分金	2,121,875 円
前年度配分金		令和4年度募金の配分金（未交付分）	1,264,898 円
配分内訳	①啓発活動	広報ほほえみ発行	627,000 円
	②高齢者福祉事業	町老連助成	90,000 円
	③障害児・者福祉活動	町身体障害者福祉会等助成	180,000 円
	④母子・父子福祉活動	町母子寡婦福祉会助成	130,000 円
	⑤児童青少年福祉活動	町内小中学校福祉活動助成	210,000 円
	⑥地域福祉活動	公募助成・かがやき活動・ボランティア活動支援・一人暮らし高齢者交流会、福祉まつり、貸出用具整備	1,213,411 円
	⑦防災・災害対策事業	災害時用備品の購入	50,000 円
	⑧未交付配分金	京都府共同募金会へ繰越金を送金	886,362 円

(2) 歳末たすけあい募金 ⇒ 12月を運動月間として住民のみなさんに協力依頼

項 目		内 容	合 計
令和6年度募金額		戸別募金、法人募金、個人募金	1,433,830 円
配 分 総 額		令和6年度募金の配分金	1,319,830 円
前年度配分金		令和5年度募金の配分金（未交付分）	181,727 円
配 分 内 訳	①在宅援助活動	激励金の配布	676,000 円
	②在宅サービス事業	年末お掃除隊、買物支援、介護用防水シート配布	506,557 円
	③共同作業所支援	共同作業所交流会支援	100,000 円
	④未交付配分金	京都府共同募金会へ繰越金を送金	219,000 円

(3) 京丹波町共同募金運営委員会・・・1回

R6.5.30	(1) R5 年度事業報告及び決算について (2) R6 年度募金助成計画について (3) R6 年度募金推進計画について (4) R5 年度未交付配分金事業計画について
---------	--

(4) 京丹波町共同募金委員会審査委員会・・・4回【書面決議含む】

R6.5.9	(1) R5 年度事業報告について (2) R6 年度事業計画について (3) R6 年度じぶんの町を良くする活動助成について
R6.7.26	(1) じぶんの町を良くする活動助成審査会 (2) 団体助成審査について
R6.8.29	【書面決議】 (1) R6 年度歳末たすけあい激励金事業の実施について
R6.12.9	(1) 歳末たすけあい激励金配分について (2) 団体助成について

【成果・課題】

- ・戸別募金は減少傾向にあるが、街頭募金やインターネットを通じた募金、法人募金が増え、ほぼ昨年と同程度の募金額となった。募金の使いみちについて分かりやすい周知を行うとともに、クレジットカード決済やコンビニ決済、PayPay 決済などネット募金の方法も増えてきているので今後広報していきたい。
- ・じぶんの町を良くする活動助成が10年を迎えた。これまで95件の申請があり、地域を元気にする活動が多く実施された。これからも貴重な財源を住民が主体的に取り組む活動に繋いでいきたい。

3 京丹波町老人クラブ連合会

京丹波町老人クラブ連合会と丹波・瑞穂それぞれの支部活動を支援するため、事務局機能を担っている。

【災害支援活動と災害ボランティアセンター活動報告】

1 他市町村社協災害ボランティアセンター支援

令和6年能登半島地震（京都府市町村社協連合会派遣）

令和6年1月に能登半島地震が発生し、京都府市町村社協連合会から職員派遣が行われた。
京丹波町社協からも被災地での災害ボランティアセンター運営支援のため職員を派遣した。

・京丹波町社協での職員派遣対応（派遣日数7日）

5/7（火）～13（月） 湊 純平



2 研修・講座・訓練・会議等

研 修 名	開催日	内 容
第1回南丹ブロック災ボラ会議	7/30	相互協定に基づく取組みについて検討
第2回南丹ブロック災ボラ会議	8/8	南丹ブロック災ボラ合同事業について
第1回災ボラ担当者会議	10/23	南丹ブロック災ボラ合同事業、町民講座、職員研修について
南丹ブロック災害VC合同事業『今からはじめよう！我が家の防災』	11/16	講演会+体験ブース
第2回災ボラ担当者会議	11/18	南丹ブロック災ボラ合同事業の振り返り、町民講座、職員研修について
第3回災ボラ担当者会議	12/4	町民講座、職員研修について
第4回災ボラ担当者会議	1/16	町民講座、職員研修について
令和6年度第1回京丹波町社協全体職員研修会（災害VC）	2/16	災害ボランティアについて、災害VC MSG（マッチング・シュミレーション・ゲーム）
第4回災ボラ担当者会議	3/6	職員研修の振り返り、町民講座について
災ボラ町民講座	3/16	防災落語（参加者59名）

【成果・課題】

- ・令和6年能登半島地震（京都府市町村社協連合会派遣）へ職員1名を派遣した。長期的な支援が必要であり、複数回の派遣要請があったが、その他に職員派遣をすることが難しかった。今後発生する災害でも派遣の要請があると思われるが、その際には事業の調整をして、一人でも多くの職員派遣が出来るような体制づくりについて検討していく必要がある。
- ・京都府災害ボランティアセンターを講師に招き、全体職員研修会を実施した。『災害ボランティアセン

ターとは何か』という基礎的なことから災ボラセンターの運営まで、講演とカードゲームを用いたグループワークにより、災ボラセンターを社協が担っている意味・重要性を学ぶことができた。

- ・今年度の町民講座は『防災落語』を実施した。これまでとは趣向を変え 『落語』を通じて防災を考えてもらう機会とし、多くの方に関心を持って聴いてもらうことができた。